

社会医療法人 きつこう会
多根総合病院

診療のご案内 2025



バス(大阪シティバス)をご利用の場合

- なんば駅前 60 系統 天保山行き、「境川(ドーム前)」より徒歩すぐ
- 大阪駅前 88 系統 天保山(境川(ドーム前)経由)行き、「境川(ドーム前)」より徒歩すぐ

電車をご利用の場合

- JR 大阪環状線「大正駅」下車、西口より徒歩10分
- Osaka Metro長堀鶴見緑地線「ドーム前千代崎駅」下車、西へ徒歩約10分
- 阪神なんば線「ドーム前駅」下車、西へ徒歩約10分

お車をご利用の場合

お車で来院される場合は、阪神高速16号大阪港線波除(なみよけ)出口から出て東に折れ、京セラドーム大阪を目印に來られるとわかりやすいです。

多根総合病院の西側に、4階建て立体駐車場(266台駐車可・有料)がございます。隣接する商業施設の駐車場も兼ねているので、駐車スペースには限りがあります。ドームイベント日等ご注意ください。

社会医療法人 きつこう会
多根総合病院

〒550-0025 大阪市西区九条南1-12-21

☎06-6581-1071 📠06-6581-2520



多根総合病院 検索

<https://general.tane.or.jp>

地域医療連携室

☎06-6585-2780(直通) 📠06-6585-2330(直通)

平日 8:45~19:00



院長 あいさつ

患者さんにとって最良の医療を届けたい

多根総合病院は京セラドーム大阪に直結した304床の病院で、1949(昭和24)年の創立から75年以上にわたって地域医療を守り続けています。大阪府がん診療拠点病院としてだけではなく、大阪西部ブロックでは唯一の災害拠点病院として、地域の皆さまに信頼される高度な医療の提供に努めてまいりました。

「地域医療のあり方をリードする」という方針のもと、がん診療に加え、年間8,000件を超える救急搬送の受け入れや日帰り手術にも積極的に取り組んでおり、より迅速で適切な医療が提供できる体制を整えております。

たとえば、設備面では2023年に手術支援ロボット「ダビンチ」を導入し、より低侵襲で正確な手術が可能となりました。さらに、2025年8月には最新の高精度放射線治療装置「TrueBeam」を導入し、がん治療の選択肢をさらに広げてまいります。

また、当院は臨床研修病院として次世代の医療人材育成にも力を入れており、看護師特定行為研修指定研修機関でもあります。医師、看護師、コメディカル部門などが協働・連携し、病院全体でチーム医療の質向上に取り組んでいます。

医療従事者の働き方改革や、社会保障費の高騰とその財源の確保など医療を取り巻く困難な問題が山積していますが、今後も変わらず地域の先生方との密な連携を通じて、患者さんにとって最良の医療を届けるために努力を続けてまいります。何卒ご支援・ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

2025年8月

多根総合病院

院長 **小川 稔**



目次

院長 あいさつ	1
01 病院概要	3
02 患者支援課 診療情報提供書	4
03 主な医療機器	6
01 外科 / 消化器外科	7
02 脳神経外科 / 神経・脳卒中センター	12
03 整形外科 / スポーツ整形外科	15
04 リハビリテーション科	18
05 泌尿器科	19
06 形成外科	22
07 耳鼻咽喉科	24
08 皮膚科	26
09 救急科 (ER)	27
10 麻酔科	28
11 放射線診断科	30
12 婦人科	32
13 歯科	34
01 総合診療内科	35
02 感染症内科	36
03 呼吸器内科	36
04 糖尿病内分泌代謝内科	37
05 循環器内科	38
06 消化器内科	40
07 脳神経内科 / 神経・脳卒中センター	42
08 腫瘍内科 / がん薬物療法センター	44
09 小児科	46
01 がん診療センター	48
02 乳腺科	49
03 高精度放射線治療センター	50
04 緩和医療科	53
05 日帰り手術センター	56
06 内視鏡センター	58
07 看護部 / 看護外来	60
01 KHS (きつこう会) / 理事長 あいさつ	63
02 社会福祉法人亀望会	68
フロアマップ	70

多根総合病院 概要

名称	多根総合病院	受付時間	平日 8:30～11:30 (午後は診療科により異なります)
所在地	〒550-0025 大阪市西区九条南 1-12-21 TEL:06-6581-1071 / FAX:06-6581-2520	診療時間	平日 9:00～17:00
病院開設	1949(昭和24)年10月 <1969(昭和44)年7月に総合病院の名称承認>	休診日	土曜日・日曜日・祝日・年末年始
理事長	多根 一之 ぎつこう会 理事長	病床数	304床
名誉院長	小川 嘉誉 ぎつこう会 会長	URL	https://general.tane.or.jp
院長	小川 稔		

診療科 内科 / 呼吸器内科 / 循環器内科 / 消化器内科 / 脳神経内科 / 疼痛緩和内科 / 外科 / 外科(内視鏡) / 外科(がん) / 呼吸器外科 / 消化器外科 / 内視鏡外科 / 乳腺外科 / 肛門外科 / 整形外科 / 脳神経外科 / 形成外科 / 泌尿器科 / 婦人科 / 耳鼻咽喉科 / リハビリテーション科 / 放射線診断科 / 放射線治療科 / 病理診断科 / 臨床検査科 / 救急科 / 小児科 / 皮膚科 / 麻酔科 / 歯科 / 神経眼科 / 緩和ケア内科 / 腫瘍内科 / 腫瘍精神科 / 感染症内科

専門部門 日帰り手術センター / がん診療センター / 内視鏡センター / 緩和ケア病棟
ICU(集中管理治療室) / HCU(高度治療室)

指定・認定等

【救急指定等】
二次救急指定病院(内科・循環器内科・外科・整形外科・脳神経外科) 災害拠点病院
日本救急医学会認定医救急科専門医指定施設 労災指定病院

【研修指定】
厚生労働省指定臨床研修指定病院

【実習指定】
臨床工学士実習指定病院 / 臨床検査技師実習指定病院 / 薬剤師実務研修施設 / 看護学校実習指定病院 / 薬学生実務実習受入施設

【学会認定・施設認定】
大阪府がん診療拠点病院 日本緩和医療学会認定研修施設
マンモグラフィ検診施設 日本循環器学会認定循環器専門医研修施設
日本内科学会認定教育関連施設 日本心血管インターベンション治療学会研修関連施設
日本消化器病学会認定施設 日本不整脈心電図学会認定不整脈専門医研修施設
日本消化器内視鏡学会指導施設 日本脳神経外科学会専門医研修施設
日本消化管学会胃腸科指導施設 日本脳卒中学会専門医制度研修教育施設
日本肝臓学会肝臓専門医制度関連施設 日本脳卒中学会認定 一次脳卒中センター
日本胆道学会指導施設 日本神経学会認定教育施設
大阪府肝炎専門医療機関 日本整形外科学会認定医制度による研修施設
日本大腸肛門病学会認定施設 日本手外科学会関連研修施設
日本腹部救急医学会腹部救急認定医・教育医制度認定施設 日本外科感染症学会 外科周術期感染管理教育施設
日本専門医機構認定 集中治療科専門研修施設 日本泌尿器科学会拠点教育施設
日本外科学会外科専門医制度修練施設 日本麻酔科学会認定病院
日本消化器外科学会専門医修練施設 日本形成外科学会認定施設
日本乳癌学会関連施設 日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設
日本がん治療認定医機構認定研修施設 日本気管食道科学会認定気管食道科専門医研修施設(咽喉系)
日本膵臓学会認定指導施設 日本鼻科学会鼻科手術認可研修施設
日本胃癌学会認定施設 B 日本医学放射線学会 放射線科専門医修練機関
日本臨床腫瘍学会認定研修施設(連携施設) 日本放射線腫瘍学会認定施設

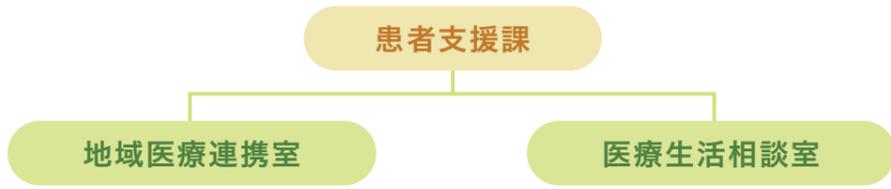
第三者評価

(財)日本医療機能評価機構認定病院 / 卒後臨床研修評価機構認定病院

患者支援課

02

地域医療連携室と医療生活相談室の2部署で構成し、それぞれ前方支援と後方支援として役割を分けることで、患者さんとご家族が安心して医療を受けられるよう努めております。地域の医療機関や介護・福祉サービス提供事業所との連携を通じて、切れ目のない医療を提供できるよう支援いたします。



主な業務

【地域医療連携室】前方支援

- 患者さんにとって必要な医療を安心して受けいただけるよう診療所や他病院との連携に努めています。
- 紹介患者さんの受け入れ(外来・入院・検査・セカンドオピニオン)に関するコーディネート業務および返書業務
- 専門医療機関や高次医療機関への転院・受診調整、かかりつけ医などへの逆紹介
- 登録医総会や各科セミナー等の企画・運営など

【医療生活相談室】後方支援

- 多職種の方々とスムーズな連携を心がけており、安心して退院いただけるよう日々退院調整を行っております。
- 入院患者さんの慢性期・回復期などの医療機関への転院調整ならびに介護保険施設等への入所・帰所調整
- 自宅退院支援業務および関係機関との連絡調整
- 経済的問題、社会資源、療養生活に関する相談(入院・外来)など



患者さんのご紹介について

紹介内容	部署	連絡先	時間
診療予約 ※1 セカンドオピニオン 検査(放射線科以外) ※2	地域医療連携室	06-6585-2780	平日 8:45 ~ 19:00
検査(放射線科)	放射線科受付	06-6585-2787	

※1 脳神経内科・脳血管内治療科・呼吸器内科・腫瘍内科・放射線治療科・緩和医療科・婦人科専門外来・ペインクリニックは完全予約制となります。地域医療連携室へ連絡のうえ、ご予約をお取りください。
 ※2 時間外の夜間救急受入れ相談は、代表電話：06-6581-1071 へご連絡ください。その際、診療情報等をお送りいただける場合は、代表 FAX：06-6581-2520 へお送りください。

ご紹介方法



セカンドオピニオンについて (予約制)

患者さんが安心・納得して治療を受けられるように、セカンドオピニオン外来を併設しています。11,000円/30分(税込)、以後30分毎に11,000円(税込)が追加されます。

診療情報提供書〈診察・検査用〉

令和 年 月 日

多根総合病院 地域医療連携室 直通
 TEL: 06-6585-2780 FAX: 06-6585-2330

紹介元医療機関

科 _____ 医師 _____

診察・検査希望日 電話で予約済

① 令和 年 月 日() ② 令和 年 月 日() 特に希望日なし

ご都合の悪い日等、あればご記入ください。

フリガナ	男・女
患者氏名	T・S・H・R 年 月 日 歳
患者住所 (〒 -)	電話番号
保険者番号	公費負担番号
記号・番号	公費受給者番号
被保険者名	有効期限
有効期限	負担割合 割

移動方法	ストレッチャー・車椅子・独歩	現在の診療状況	外来通院中・入院中
------	----------------	---------	-----------

傷病名

紹介目的・既往歴及び家族歴・症状経過及び検査結果・治療経過・現在の処方/検査目的 別紙参照

MRI検査における予約前の確認事項 (□にチェックして下さい)

- 乳房皮膚拡張器.....□無 有→絶対禁忌
- 心臓ペースメーカー.....□無 有→原則禁忌*1
- 脳動脈瘤術後クリップ.....□無 有→原則禁忌*2
- 冠動脈・頸動脈ステント.....□無 有
- 妊娠.....□無 有→原則禁忌 当院では施行していません
- 人工内耳.....□無 有→絶対禁忌
- その他手術による体内金属.....□無 有→要注意 詳細は予約時に相談して下さい*3
- 刺青.....□無 有→要注意 火傷や変色の可能性があります
- 閉所恐怖症.....□無 有→ひどい方は撮影できない場合がございます

その他予約前の確認事項

- 薬物禁忌.....□無 有()
- アレルギー体質.....□無 有()
- 気管支喘息.....□無 有()
- 感染症.....□無 有(HB + . -)
(HCV + . -)
(ワ氏 + . -)
- 腎機能(原則3ヶ月以内).....□無 有(Cre (eGFR))

*1: MRI対応で当院手術施行のみ(事前に循環器内科の診察が必要となります)
 *2: MRI対応で当院手術施行のみ(必要であれば脳神経外科で確認をお願いいたします)
 *3: 有の場合は体内金属がMRIに対応しているか確認が必要となります。MRI非対応の場合は検査を受けることができません。
 注意事項: MRI対応の心臓ペースメーカー、MRI対応の脳動脈瘤術後クリップ、冠動脈及び頸動脈ステント、刺青、その他術後金属(MRI対応)は、1.5テスラMRI装置での対応となります。

2022年11月作成

主な医療機器

03

多根総合病院では、高度で良質な医療をご提供するため以下の主な機器を導入しています。



レントゲン撮影装置 DR システム
RADNEXT50(日立メディコ製)



乳房撮影装置
AMULET S(富士フィルム製)



CT 撮影装置
Revolution CT
(GE ヘルスケア・ジャパン製)



結石破碎装置 (ESWL)
COMPACT SIGMA
(ドルニエ製)



手術支援ロボット
ダヴィンチ
(インテュイティブサージカル合同会社製)



MRI 撮影装置
MAGNETOM Altea 1.5T
(シーメンスヘルスケア製)



MRI 撮影装置
Discovery MR750 3.0T
(GE ヘルスケア・ジャパン製)



血管撮影装置
Azurion
(フィリップス・ジャパン製)



外科用イメージ透視装置
Zenition 70
(フィリップス・ジャパン製)



核医学検査
Symbia Evo Excel
(シーメンスヘルスケア製)



高精度放射線治療装置
TrueBeam
(バリアン製)



放射線治療計画CTシミュレーション装置
SOMATOM go.Sim
(シーメンスヘルスケア製)

01

外科 *Surgery* 消化器外科 *Gastroenterological Surgery*

救急診療からがん診療を中心に高度な診療を行う

当院の外科は、大阪大学消化器外科の関連施設として一般外科、消化器外科に力を注いでいます。当院の2024年度の消化器外科の手術件数は、1,186件でした。地域の外科中核病院として、急性腹症などの救急診療、がん診療を中心に責任ある高度な診療にあたります。まず急性期病院として周辺地域の救急疾患に対しては24時間365日休みなく受け入れる体制を確立し、迅速な採血検査やCTなどの画像診断を駆使し十分な医療を提供いたします。

スタッフ体制

きつこう会統括院長

兼 日帰り手術センター名誉センター長

丹羽 英記

NIWA HIDEKI



専門分野

消化器外科、日帰り手術、鏡視下手術

院長

小川 稔

OGAWA MINORU



専門分野

外科全般
大腸肛門外科

資格 / 専門医 / 指導医等

日本外科学会専門医
日本消化器外科専門医・指導医

上席副院長

兼 外科部長
兼 卒後臨床研修センター長

森 琢児

MORI TAKUJI



専門分野

消化器外科(特に上部消化管)
腹腔鏡外科治療(特に腹腔鏡下胃切除)

資格 / 専門医 / 指導医等

日本外科学会認定医・専門医・指導医
日本消化器外科学会認定医・専門医・指導医
日本消化器病学会専門医・指導医、日本消化器内視鏡学会専門医・指導医
日本食道学会食道科認定医、日本乳癌学会認定医、日本 DMAT、大阪 DMAT

副院長

兼 外科統括部長

小川 淳宏

OGAWA ATSUHIRO



専門分野

消化器外科(大腸外科)
大腸内視鏡
自然気胸

資格 / 専門医 / 指導医等

日本外科学会専門医・指導医、日本消化器外科学会専門医・指導医
日本大腸肛門病学会専門医・指導医、日本消化器内視鏡学会専門医・指導医
日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医、日本乳癌学会乳腺認定医
日本がん治療認定医機構がん治療認定医

- 外科/消化器外科
- 脳神経外科/神経・脳卒中センター
- 整形外科/スポーツ整形外科
- リハビリテーション科
- 泌尿器科
- 形成外科
- 耳鼻咽喉科
- 皮膚科
- 救急科 (ER)
- 麻酔科
- 放射線診断科
- 婦人科
- 歯科
- 総合診療内科
- 感染症内科/呼吸器内科
- 糖尿病・内分泌代謝内科
- 循環器内科
- 消化器内科
- 脳神経内科/神経・脳卒中センター
- 腫瘍内科/がん薬物療法センター
- 小児科
- がん診療センター
- 乳腺科
- 高精度放射線治療センター
- 緩和医療科
- 日帰り手術センター
- 内視鏡センター
- 看護部/看護外来
- KHS(きつこう)
- 社会福祉法人 亀屋会

がん診療センター長

兼 乳腺センター長

西 敏夫

NISHI TOSHIO



専門分野

乳腺

資格 / 専門医 / 指導医等

日本外科学会専門医・指導医、日本乳癌学会専門医・指導医
マンモグラフィ読影医 A 判定

日帰り手術センター長

土屋 康紀

TSUCHIYA YASUNORI



専門分野

日帰り手術(鼠径ヘルニアなど)
腹腔鏡手術(鼠径ヘルニア、大腸など)

資格 / 専門医 / 指導医等

日本外科学会専門医・指導医、日本消化器外科学会専門医・指導医
日本消化器内視鏡学会専門医・指導医、日本内視鏡外科学会技術認定医(大腸)
日本乳癌学会乳腺認定医、日本ヘルニア学会鼠径部ヘルニア修得医

外科部長

金 浩敏

KIN HIROTOSHI



専門分野

消化器外科
(特に下部消化管)

資格 / 専門医 / 指導医等

日本外科学会専門医・指導医、日本消化器外科学会専門医・指導医
日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医
日本内視鏡外科学会技術認定医(一般外科・大腸)
日本消化器病学会専門医・指導医、日本消化器内視鏡学会専門医・指導医
日本大腸肛門病学会専門医・指導医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医
日本内視鏡外科学会ロボット支援手術プロクター認定医(直腸・結腸)

肝胆膵外科部長

細田 洋平

HOSODA YOUHEI



専門分野

外科全般
消化器外科

資格 / 専門医 / 指導医等

日本外科学会専門医・指導医、日本消化器外科学会専門医・指導医
日本胆道学会認定指導医、日本肝臓学会認定肝臓専門医
日本外科感染症学会外科周術期感染管理認定医・教育医
日本腹部救急医学会腹部救急認定医・教育医、日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医
日本肝胆膵外科学会評議員

外科部長

柄池 真規子

GARAIKE MAKIKO



専門分野

精神科全般
認知症
緩和ケア

資格 / 専門医 / 指導医等

厚生労働省認定精神保健指定医、日本精神神経学会精神科専門医・指導医・認知症診療医
サイコオンコロジー学会認定登録精神腫瘍医、日本認知症学会専門医・指導医

名前	役職	専門分野	資格・専門医・指導医等
久戸瀬 洋三 くどせ しょうぞう	副部長	消化器外科 (大腸外科)	日本外科学会専門医、日本消化器外科学会専門医、日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医、日本内視鏡外科学会技術認定医(大腸) 日本内視鏡外科学会ロボット支援手術プロクター認定医(大腸)
加藤 弘記 かとう ひろき	医長	外科一般	日本外科学会専門医

名前	役職	専門分野	資格・専門医・指導医等
實近 侑亮 さねちか ゆうすけ	医員	外科一般	
大竹 弘泰 おおたけ ひろよし	医員	外科一般	
福田 雄介 ふくだ ゆうすけ	医員	外科一般	
廣部 雅臣 ひろべ まさおみ	医員	外科一般	
河本 知樹 かわもと ともき	医員	外科一般	

診療内容・特色

対象疾患

- 消化器悪性腫瘍全般(食道がん、胃がん、大腸がん、膵臓がん、胆道がんなど)
- 良性消化器疾患(胆石症、胆嚢炎、痔核、直腸脱など)
- ヘルニア全般(鼠径ヘルニア、大腿ヘルニア、腹壁ヘルニアなど)
- 内分泌疾患(乳がん、乳腺良性腫瘍など)
- 急性腹症(虫垂炎、腸閉塞、消化管穿孔、腹部外傷など)
- 胸部疾患(若年性自然気胸)

【がん治療】

大阪府がん拠点病院としてガイドラインに従った高度のがん診療に従事しています。放射線治療センターや緩和ケア病棟も併設し、診断から手術、化学療法、放射線治療から緩和ケアまで当院でがん治療の全てが完結できる体制が整っています。

【急性期医療】

当院は二次救急指定病院として大阪市西部の救急医療を担っています。当科では、急性腹症、例えば消化管穿孔、虫垂炎、腸閉塞、胸部疾患では気胸などの救急疾患の治療にあたっています。

【低侵襲手術】

当院では腹腔鏡や胸腔鏡を用いることでお腹や胸を大きく切開しない手術を積極的に取り入れ、2024年度は602例と多数の鏡視下手術を行っています。また、胃がんや大腸がんなどの悪性疾患に対しては、ロボットを用いたより先進的な腹腔鏡下手術も行っています。急性虫垂炎、消化管穿孔、イレウスなどの急性腹症にも鏡視下手術を第一選択として行っています。

【日帰り手術 / 詳細 P56】

胆石症、ヘルニア(鼠径ヘルニア)、痔などの肛門疾患、下肢静脈瘤などは、全国的にも有数の症例数を誇る日帰り手術センターを中心にいきます。

外科の専門チーム

【上部消化管外科(森塚児・加藤弘記)】

上部消化管外科では食道、胃、十二指腸疾患に対する治療を担当しています。食道がん、胃がんに対して、基本的には胃癌学会、食道学会のガイドラインに沿った標準治療を行います。当科の特徴としては消化器外科医と消化器内科医がチームを組み、ガイドラインに反映されない患者さんの状態までを考慮し治療法を選択しています。

食道がんについて

食道がんは内視鏡治療で治療が可能なものに関しては内視鏡的粘膜下層切開・剥離術（ESD）も導入しています。詳しくは消化器内科のページ（P40）をご覧ください。内視鏡治療の対象にならない症例については胸腔鏡下補助下食道切除術を行っています。食道がんはステージによって治療スケジュールが異なります。内視鏡治療が適応にならない早期食道がんに関しては手術、また進行食道がんに関しては手術前に化学療法を行ったのちに手術を行います。手術の適応にならない方、手術を希望されない方、また手術への耐術能に問題がある方には放射線化学療法を選択しています。こちらに関しては放射線治療科と連携を取りながら治療方針を決定しています。

最先端の放射線治療機器を導入しており、最新の治療を当院で受けることが可能になっています。

胃がんについて

当院は日本胃癌学会認定施設 B に指定されています。胃がんについても積極的に内視鏡治療を行っています。内視鏡的粘膜下層切開・剥離術（ESD）も導入し、従来は内視鏡治療が困難であった広範囲の粘膜に対しても一括切除が可能となっています。詳しくは消化器内科のページをご覧ください。内視鏡治療の適応外となる症例については、できるだけ患者さんの負担の少ない腹腔鏡下幽門側胃切除術（LDG）、腹腔鏡補助下胃全摘術（LATG）を積極的に行っております。また、2024 年より胃がんに対してもロボット手術を導入しています。

当院では経験豊富なスタッフが在籍しており、安全に腹腔鏡下手術を行うことができます。

急性腹症手術（胃穿孔、十二指腸穿孔など）

当院では急性腹症の症例を積極的に受け入れています。救急搬送された胃穿孔、十二指腸潰瘍穿孔などの緊急の上部消化管症例に対しても腹腔鏡下手術を行っています。

消化管間質腫瘍（GastroIntestinal Stromal Tumor：GIST）について

GIST は胃がんとは違い、通常はリンパ節転移しにくいとされており、腫瘍周囲をくりぬくように切除する局所切除術が主に行われます。当院では腹腔鏡・内視鏡合同手術（LECS）を行っています。LECS とは、内視鏡医による内視鏡手術と、外科医による腹腔鏡下胃局所手術の合同手術として、内科と外科の協力で行う手術をいいます。通常の腹腔鏡下手術と同じ全身麻酔下で行います。

【大腸外科（小川淳宏、金 浩敏、久戸瀬洋三、小川 稔）】

当院では大腸がん手術は、ほとんどが腹腔鏡下に行われており、さらに直腸がんのほとんどや一部の結腸がんでは手術支援ロボット（ダヴィンチ）を使用した、より精緻で安全性の高い手術を行っています。当科では金浩敏部長、久戸瀬洋三副部長の 2 名が内視鏡外科技術認定医（大腸）、ロボット支援手術プロクター（指導医）の資格を有しています。腹腔鏡下手術では臍の部分を開くので傷はほとんど分からなくなります。術後の回復も早く、早期に職場や家庭に復帰できます。また、直腸がんの手術においてはできるだけ肛門を温存する術式を取り入れています。肛門に非常に近いがんにおいても人工肛門を回避することが可能になっています。

また、当院は併設する放射線治療センターと連携して手術の補助治療として放射線治療も行えます。

外来化学療法センターでは、FOLFOX、FOLFIRI、XELOX、IRIS などにベパシズマブ、パニツムマブ、セツキシマブなどの分子標的薬を加えた最新のエビデンスを取り入れた化学療法を安全に行っており、良好な治療成績を上げています。

【肝胆膵外科（細田洋平）】

肝臓、胆道（胆管・胆嚢・十二指腸乳頭部）、膵臓に発生する悪性腫瘍である原発性肝がんや転移性肝がん、胆道がんや膵がんに対する治療は切除が可能な場合、切除が治療の選択肢として挙げられます。肝胆膵外科ではこれらの手術を専門性高く行っています。がんの治療の選択は見つかった時点での進行度（ステージ：がんの広がり具合）、他の治療法（化学療法、放射線治療など）との比較、患者さんの希望などに応じて決定していただきます。治療の選択は後悔しないためにも慎重に行う必要がありますが、肝胆膵外科で行う肝臓・胆道・膵臓のがんは進行が早いタイプのがんが多く、治療の選択に時間を長くかけることができません。当科ではできるだけ早期に診断をつけて進行度などを評価して、病状について患者さん・ご家族に丁寧で分かりやすい説明をするよう心がけています。病状をしっかりと理解して様々な治療選択肢のメリット・デメリットを知って治療方針を決定していただきたく思います。セカンドオピニオンの希望がある方にも柔軟に対応いたします。

肝胆膵外科で行う手術は肝切除や膵切除（膵頭十二指腸切除や膵体尾部切除）、胆管切除+胆道再建などが挙げられますが、消化器外科手術の中で難易度の高い手術とされます。これは解剖学的に複雑な構造をしていることやより正確な手術を行うために造影 CT 検査を放射線科と連携して画像処理することにより術前のシミュレーション（術中にも参考にします）を行っています。

また、良性疾患、悪性疾患に対する低侵襲手術を積極的に行っています。胆嚢炎や胆石症などの良性疾患、胆嚢ポリープなどの胆嚢良性腫瘍、膵臓の良悪性境界腫瘍、肝嚢胞などに対しては症例に応じて、より低侵襲である腹腔鏡下手術を数多く行っています。特に胆嚢摘出術は毎年 200 例以上行っており、胆石症に関しては日帰り手術や単孔式手術も積極的に取り入れています。

当科は消化器内科や緩和医療科などの他科と密に連携し、肝胆膵疾患の診断から治療及び治療後まで患者さん・ご家族にとって最善となるような医療の提供をしています。膵がんに関しては多職種や近隣の医療機関とも連携し早期膵がん発見プロジェクトを立ち上げています。

【肺】

若年者自然気胸に対する胸腔鏡下手術を行っています。多くの患者さんは術後 2～3 日で退院が可能です。

【鼠径ヘルニア】

鼠径ヘルニアの手術については日帰り手術センターのページ（P56）をご覧ください。

治療実績・診療実績

2024 年度外科手術件数 **1,186** 件

治療部位・施術		件数	施術詳細	(件)
食道 6	食道がん(接合部がん扁平上皮がん含む)	3		
	食道その他	3		
胃・十二指腸 (十二指腸 乳頭部がんは 胆道がんへ) 69	胃がん	52	胃全摘 14(開腹 8 / 腹腔鏡 2)	
			幽門側胃切除(PPG、分節切除含む) 32(開腹 8 / 腹腔鏡 10)	
			噴門側胃切除 4(開腹 2 / 腹腔鏡 2)	
			その他胃切除(局所切除/楔状切除など) 1(開腹 1)	
胃・十二指腸 GIST(開腹/腹腔鏡を問わず)	7			
胃・十二指腸その他(潰瘍/病的肥満/胃瘻など、開腹/腹腔鏡を問わず)	10			
小腸・大腸・肛門 428	結腸がん	75	切除術 67(開腹 9 / 腹腔鏡(RPS を除く) 51 / ロボット 7) 非切除(人工肛門造設・閉鎖、バイパスなど) 8	
	直腸がん(肛門がん含む)	61	切除術(肛門温存) 45(腹腔鏡(RPS を除く) 4 / ロボット 41)	
			局所切除(経肛門切除、TEM) 1	
			非切除(人工肛門造設・閉鎖、バイパスなど) 15	
	小腸 GIST(開腹/腹腔鏡を問わず)	2		
	小腸粘膜下腫瘍(GIST 以外、開腹/腹腔鏡を問わず)	1		
	虫垂炎(開腹/腹腔鏡を問わず)	142	開腹 2 / 腹腔鏡(単孔式、RPS を含む) 140	
	イレウス(開腹/腹腔鏡を問わず)	57		
	痔核	50		
	痔瘻	1		
	結腸その他(開腹/腹腔鏡を問わず)	22		
	直腸その他(開腹/腹腔鏡を問わず)	10		
肛門その他(開腹/腹腔鏡を問わず)	5			
小腸その他(開腹/腹腔鏡を問わず)	2			
肝・胆・膵 249	肝細胞がん	2	肝区域切除(開腹 1)	
	転移性肝がん	9	肝区域切除 3(開腹 3)	
			肝部分切除 6(開腹 4 / 腹腔鏡 2)	
	胆嚢がん	2	肝部分切除(拡大胆嚢を含む) 1(開腹 1) 胆摘 1(腹腔鏡 1)	
	遠位胆管がん(中下部胆管がん)	2	膵頭十二指腸切除 2(開腹 2)	
	十二指腸乳頭部がん	1	膵頭十二指腸切除 1(開腹 1)	
	膵管がん	10	膵頭十二指腸切除 6(開腹 6)	
			尾側膵切除 4(開腹 3 / 腹腔鏡 1)	
	膵神経内分泌腫瘍	2	尾側膵切除 1(腹腔鏡 1) その他切除術 1(腹腔鏡 1)	
	膵 IPMN	4	膵頭十二指腸切除 1(開腹 1)	
			尾側膵切除 2(開腹 2)	
その他切除術 1(開腹 1)				
胆石症・胆嚢炎・胆嚢ポリープなど	210	開腹胆石症手術 5 腹腔鏡下胆石症手術(単孔式、RPS を含む) 205		
総胆管結石症	1	腹腔鏡 1		
肝胆膵その他	7	開腹 1 / 腹腔鏡 6		
ヘルニア(鼠径ヘルニア、大腿ヘルニアなど) 319	319	開腹ヘルニア根治術 312 腹腔鏡下ヘルニア根治術 7		
腹膜炎・その他 113	113			
他科手術 2	2			

患者数
2024 年度
外来患者延数
(月平均 1523.2 人)
18,278人
 入院患者延数
(月平均 1147.7 人)
13,772人

連携医療機関の先生方へメッセージ

患者さん中心の医療を心がけております。安心してご紹介ください。

脳神経外科 *Neurosurgery*

神経・脳卒中センター

脳神経内科と「神経・脳卒中センター」を設置し、迅速に的確な治療

当院の脳神経外科は、大阪市内の主に港支部(西区、大正区、港区)と併せて南大阪支部(住之江区、住吉区、西成区)の脳神経外科疾患に対応、貢献することを目指しています。まず、当科は脳神経内科と共同で「神経・脳卒中センター」を設置しています。この医療チームは、脳血管障害に重点を置き、基本的に虚血性脳血管障害は脳神経内科、出血性脳血管障害は脳神経外科が治療に従事しますが、従来の縦割りの治療体系を打破し、両科の垣根をなくして常に連携を密にし、内科的治療から外科的治療へ、外科的治療から内科的治療へとスムーズに移行できるようにしています。そして毎朝、両科の医師が一堂に集めしカンファレンスを行い、それぞれの症例に対しての最善の治療を検討しています。また、脳卒中、外傷並びに神経疾患に対して365日24時間体制で対応していることが特色です。脳腫瘍については、大学病院さながらの最新鋭の画像誘導手術支援(ナビゲーション)装置を有しており、術中モニタリングを行い、安全性の高い手術を提供しています。さらに、下垂体腫瘍を含む頭蓋底腫瘍に関しては、耳鼻咽喉科と共同で内視鏡を用いて行うようになっています。脳腫瘍術後は、化学療法をはじめ放射線治療が可能で、当院での治療が完結します。放射線治療は当院の放射線治療科と連携し、高精度放射線治療装置を用い、定位放射線治療、強度変調放射線治療などの最先端の治療を提供しています。

スタッフ体制

きつこう会 理事長

多根 一之

TANE KAZUYUKI



専門分野 資格 / 専門医 / 指導医等

脳血管障害
頭部外傷

日本脳神経外科学会脳神経外科専門医
日本脳卒中学会脳卒中専門医・指導医

神経・脳卒中センター長

小川 竜介

OGAWA RYUSUKE



専門分野 資格 / 専門医 / 指導医等

脳神経外科一般 / 脳血管障害
くも膜下出血の病態生理
頭蓋底疾患の外科
下垂体腫瘍、神経内視鏡手術

日本脳神経外科学会脳神経外科専門医
日本脳卒中学会脳卒中専門医・指導医
日本脳卒中の外科学会技術指導医

ICU 専任部長

小畑 仁司

KOBATA HITOSHI



専門分野 資格 / 専門医 / 指導医等

脳神経外科・救急・集中治療科
脳神経外科一般
脳血管障害(特にくも膜下出血)
頭部外傷、神経救急・集中治療

日本脳神経外科学会専門医、日本救急医学会指導医・専門医
日本集中治療医学会指導医・専門医、日本脳卒中学会専門医
日本脳卒中の外科学会技術指導医、日本脳神経外傷学会指導医・専門医
日本頭痛学会指導医・専門医

脳神経外科統括部長

三木 義仁

MIKI YOSHIHITO



専門分野 資格 / 専門医 / 指導医等

脳神経外科一般、脳血管障害
脳腫瘍、神経外傷
神経内視鏡手術

日本脳神経外科学会脳神経外科専門医・指導医、日本脳卒中学会脳卒中専門医・指導医
日本脳卒中の外科学会技術指導医、日本神経内視鏡学会技術認定医
日本頭痛学会頭痛専門医、日本医師会認定産業医

脳神経外科部長

藤城 高広

FUJISHIRO TAKAHIRO



専門分野 資格 / 専門医 / 指導医等

脳神経外科一般
脊椎、脊髄外科

日本脊髄外科学会認定医、日本脳神経外科学会脳神経外科専門医
日本脳卒中学会脳卒中専門医、日本神経内視鏡学会技術認定医、脳血栓回収療法実施医

名前	役職	専門分野	資格・専門医・指導医等
森本 隆之 もりもと たかゆき	医員	脳神経外科一般	

診療内容・特色

対象疾患

- ・脳卒中
- ・脳梗塞
- ・脳腫瘍
- ・脳血管障害
- ・頭部外傷
- ・脳動脈瘤

脳腫瘍放射線治療外来

当院では、脳腫瘍に対する放射線治療(定位照射・IMRTの高精度放射線治療、通常照射)を実施しています。脳神経外科医による専門的な診察のもとで、放射線治療を中心とした治療方針について相談を行う「脳腫瘍放射線治療外来」を開設しています。

当科外来の対象症例

- ・脳転移に対する定位照射(ガンマナイフと同等の治療)
- ・脳転移に対する全脳への予防照射と病巣部への定位照射の同時治療(病巣が複数個以上存在する場合に適応。従来、別々に行っていた全脳照射と定位照射を同時に実施可能)
- ・髄膜腫、神経鞘腫等に対する定位照射(短期照射も副作用の低減を目指し、分割回数を増やした照射も対応可能)
- ・神経膠腫の術後の化学放射線療法
※希望される治療方針についても、診療情報提供書に記載ください。
- ・脳神経外科病棟で入院下での放射線治療を検討している症例
※基本的に入院は照射期間中のみとなります。照射終了後に入院加療の継続が必要な場合には、紹介元の医療機関に転院していただくことになります。
- ・放射線治療の詳細については、高精度放射線治療センター(詳細 P50)にてご確認ください。

治療実績・診療実績

脳神経外科の手術症例数（2024年1～12月）

治療部位・施術		件数
脳腫瘍	摘出術	13
	生検術（開頭術）	1
	生検術（定位手術）	2
	経蝶形骨洞手術	1
	広範囲頭蓋底腫瘍切除・再建術	3
	その他	0
脳血管障害	破裂動脈瘤	9
	未破裂動脈瘤	1
	脳動静脈奇形	1
	頸動脈内膜剝離術	2
	バイパス手術	1
	高血圧性脳内出血（開頭血腫除去術）	8
	高血圧性脳内出血（定位手術）	0
その他	7	
外傷	急性硬膜外血腫	1
	急性硬膜下血腫	5
	減圧開頭術	1
	慢性硬膜下血腫	61
	その他	3
奇形	頭蓋・脳	0
	脊髄・脊椎	0
	その他	0
水頭症	脳室シャント術	13
	内視鏡手術	0
	その他	8
脊椎・脊髄	腫瘍	1
	動静脈奇形	0
	変性疾患（変形性脊椎症）	26
	変性疾患（椎間板ヘルニア）	9
	変性疾患（後縦靭帯骨化症）	3
	脊髄空洞症	0
	その他	3
機能的手術	てんかん	0
	不随意運動・頭痛症（刺激術）	0
	不随意運動・頭痛症（破壊術）	0
	脳神経減圧術	8
	その他	0
血管内手術	動脈瘤塞栓術（破裂動脈瘤）	7
	動脈瘤塞栓術（未破裂動脈瘤）	7
	動静脈奇形（脳）	4
	動静脈奇形（脊髄）	0
	閉塞性脳血管障害の総数 （上記のうちステント使用例）	47 (7)
	その他	2
その他	上記の分類すべてに当てはまらない症例	12
脳神経外科の手術の総数		270

患者数：2024年度

外来患者延数
(月平均 563.8人) **6,765人**

入院患者延数
(月平均 799.3人) **9,591人**

連携医療機関の先生方へメッセージ

該当される患者さんがいらっしゃいましたら、当院の地域医療連携室 <TEL:06-6585-2780(直通)> までご連絡ください。

整形外科 スポーツ整形外科 Orthopaedic Surgery

整形外科一般から高度なレベルの治療、スポーツ専門の治療まで幅広く対応

整形外科では骨折や靭帯損傷など一般的な外傷、スポーツ愛好家からハイレベルアスリートまで幅広いスポーツ障害、年齢を重ねるごとに痛みが出てくる腰や関節の変性疾患、また骨粗鬆症やリウマチ性疾患に対して保存的及び外科的治療を行っています。WHOは21世紀の初頭を「骨・関節の10年」として骨・関節疾患の予防・治療が世界的に重要であると活動を展開しています。我が国でも超高齢社会を迎えてQOLの向上に関心が寄せられています。私たちの診療科では、患者さんの立場と心をよく理解し、一人でも多くの方の機能回復が得られるように努めています。当院の特徴として専門外来では肩関節・肘関節の障害、肩・肘スポーツ障害を診療する「肩・肘・スポーツ外来」とスポーツに関わる障害を体幹、下肢も含めて診療する「スポーツ外来」を行っています。保存的治療であれば社会復帰・競技復帰を目指してリハビリテーション科と協力し、外科的治療であれば関節鏡手術を多く行っています。また肩の変性疾患に対するリバース型人工肩関節置換術も行っています。

スタッフ体制

整形外科部長 **永井 宏和**
NAGAI HIROKAZU



専門分野……………資格 / 専門医 / 指導医等……………

肩関節外科、肘関節外科 日本整形外科学会整形外科専門医
スポーツ整形外科 日本体育協会公認スポーツドクター
関節鏡手術 日本肩関節学会代議員
ドクターオブドクターズネットワーク® 優秀専門臨床医™ (2022-2025)

名前	役職	専門分野	資格・専門医・指導医等
城内 泰造 しろうちたいぞう	医長	整形外科一般 スポーツ整形外科	NTTドコモラグビーレッドハリケーンズチームドクター オリックスバファローズチームドクター 全米公認アスレティックトレーナー(NATA-ATC) 全米スポーツ医学協会公認パフォーマンスエンハンスメントスペシャリスト(NASM-PES) 日本整形外科学会整形外科専門医、日本スポーツ協会公認スポーツドクター
藤原 圭 ふじわら けい	医員	整形外科一般	MB, BCh, BAO, MCh (Tr & Ortho)
馬場 直人 ばば なおと	医長	整形外科一般	日本整形外科学会整形外科専門医、運動器リハビリテーション医

- 外科/消化器外科
- 脳神経外科/神経・脳卒中センター
- 整形外科/スポーツ整形外科
- リハビリテーション科
- 泌尿器科
- 形成外科
- 耳鼻咽喉科
- 皮膚科
- 救急科 (ER)
- 麻酔科
- 放射線診断科
- 婦人科
- 歯科
- 総合診療内科
- 感染症内科/呼吸器内科
- 糖尿病/内分泌代謝内科
- 循環器内科
- 消化器内科
- 脳神経内科/神経・脳卒中センター
- 腫瘍内科/がん薬物療法センター
- 小児科
- がん診療センター
- 乳腺科
- 高精度放射線治療センター
- 緩和医療科
- 日帰り手術センター
- 内視鏡センター
- 看護部/看護外来
- KHS (きつこう会)
- 社会福祉法人 亀屋会

名前	役職	専門分野	資格・専門医・指導医等
島 昂大 はた あきひろ	医員	整形外科一般	
田村 翔 たむら しょう	医員	整形外科一般	
本城 昌 ほんじょう まさし	非常勤医師 (整形外科顧問)	外傷全般 手の外科 末梢神経外科	日本整形外科学会整形外科専門医、日本リウマチ学会専門医 日本整形外科学会認定スポーツ医、日本整形外科学会認定リウマチ医 日本リウマチ財団登録医、日本整形外科学会認定脊椎脊髄病医 日本手外科学会専門医、滋賀医科大学医学博士 身体障害者福祉法第15条第1項に規定する医師(肢体不自由に関する指定医師)
山崎 哲也 やまざき てつや	非常勤医師 横浜南共済病院 スポーツ整形外科部長	スポーツ整形外科 関節鏡	日本整形外科学会専門医・認定スポーツ医 日本体育協会公認スポーツドクター

診療内容・特色

対象疾患

- ・ 一般外傷
- ・ 肘関節外科(専門外来あり)
- ・ 慢性疾患全般
- ・ 肩関節外科(専門外来あり)
- ・ スポーツ障害(専門外来あり)

肩・肘・スポーツ外来

専門的に診断後、リハビリテーション科と連携し、まずは保存的(手術をせず)に治療いたします。
その上で手術が必要であれば主に関節鏡手術で対応いたします。またリバー型人工肩関節置換術も当院で行っています。

主な対象疾患

疾患名	主な治療方法と治療方針
腱板断裂	保存的治療から開始し、手術は関節鏡で行います。リバー型人工肩関節置換術も行っています。
五十肩(肩関節周囲炎)	ほとんど保存的治療で改善します。
反復性肩関節脱臼	関節鏡手術を行っています。スポーツ種目や職業も考慮し手術を行います。
投球障害肩・野球肘	主に保存的治療です。リハビリと連携し治療を行います。
変形性肘関節症	痛みや可動域が悪くて固まっている場合には関節鏡手術を行います。
肩鎖関節脱臼	関節鏡手術を行っています。

スポーツ整形外科

近年、スポーツの果たす役割は非常に大きくなっています。学童期の子供たちにとってのスポーツは開始年齢の低年齢化によって、児童数は減っているにもかかわらずスポーツによる外傷、障害件数は増え続けています。これは、成長期である児童に大人並みの過度な練習を強いたり、誤ったフォームなどで関節に負担をかけ続けたりすることに起因することが多々あります。例えば、野球であれば野球肘、リトルリーグズショルダーなどは野球が特徴的な疾患であり、投球フォームや投球回数を調整することで予防ができます。また、離断性骨軟骨炎は成長期の膝痛と知られ、外傷を契機に発症することもしばしばあり、スポーツの休止を余儀なくされることもあります。このように成長期の骨関節が弱い時期に起こったスポーツ障害は適切な治療が遅れると後遺症を残すことにもなりかねません。成人では競技スポーツからレクリエーションスポーツまで様々な形で様々なスポーツが日常的に行われていますが、テニスであればテニス肘、バスケットボール、バレーボール、サッカーは足関節靭帯損傷、膝前十字靭帯損傷、野球は投球障害肩などそれぞれのスポーツに特徴的な障害が存在します。当科では、スポーツ選手をはじめ、スポーツ愛好家や学生など、スポーツを始めようとする方々を対象とし、痛みの原因を検討することで予防、治療することが可能です。

治療実績・診療実績

2024年手術実績 (件)

治療部位・施術	件数
脊椎	35
上肢・手	48
下肢	26
外傷	435
リウマチ	0
スポーツ	74
小児	12
腫瘍	2
その他	1
合計	633

患者数：2024年度

外来患者延数 **11,596人**
(月平均 966.3人)

入院患者延数 **9,778人**
(月平均 814.8人)

連携医療機関の先生方へメッセージ

紹介先でお困りの際は、当院の地域医療連携室(直通 TEL:06-6585-2780)までご相談ください。

リハビリテーション科

04

Rehabilitation

地域の基幹病院で急性期リハビリテーション医療を実施します

当院が急性期病院であることから、入院された患者さんに対して急性期リハビリテーションを実施します。主科から他科紹介の形式でリハビリテーション科にご依頼をいただき、リハビリテーション科専門医が、ベッドサイドで診察後、処方を行います。

リハビリテーション科の入院病床はなく、共観で担当させていただきますが、患者さんの回復と社会復帰のために必要なことは何かを考え、時には方向性の決定に必要な情報収集を行うなど状況に応じて臨機応変に対応しています。

スタッフ体制

リハビリテーション科部長

黒田 百合

KURODA YURI



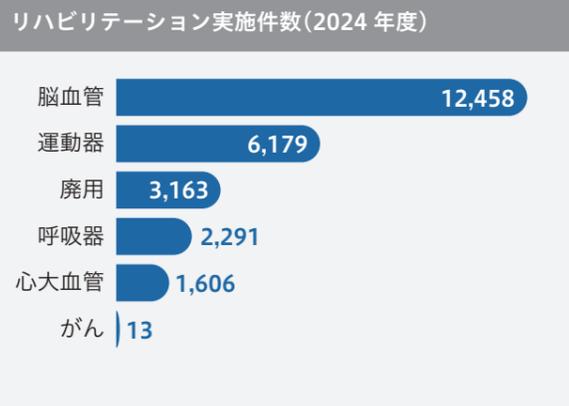
専門分野 資格 / 専門医 / 指導医等
 リハビリテーション リハビリテーション科専門医、義肢装具等適合判定医

診療内容・特色

施設基準 心大血管リハビリテーション (I)、脳血管疾患等リハビリテーション (II)、廃用症候群リハビリテーション (II)、運動器リハビリテーション (I)、呼吸器リハビリテーション (I)、がん患者リハビリテーション、緩和ケア病棟では依頼に応じて実施します。

セラピスト 理学療法士 17 名 (技師長含む)、作業療法士 1 名、言語聴覚士 3 名
 疾患別リハビリテーションとして、患者さんの病態や症状に応じて身体機能や高次脳機能および嚥下機能に対する評価訓練を行います。急性期のため、疾患などに対する治療が優先されますが、リスク管理に基づき、まずは廃用を予防し、短期目標と長期目標を念頭に置きながら実施しています。

治療実績・診療実績



連携医療機関の先生方へメッセージ

リハビリテーション科が関わった患者さんにつきましては、可能な限り入院される前の状態への回復を目指します。



泌尿器科 Urology

05

泌尿器疾患に、迅速・的確な対応

腎臓・副腎・尿管・膀胱・前立腺・尿道・精巣(睪丸)・陰茎などの泌尿器疾患に対し、初診時には可能な限りその日に診断できるよう心がけています。次のステップとして、さらに検査を進めて診断を確実なものとし、治療については、病状に対してだけでなく QOL を考慮し、治療方法を決定しています。

スタッフ体制

副院長

細川 幸成

HOSOKAWA YUKINARI

兼 泌尿器科統括部長



専門分野 資格 / 専門医 / 指導医等
 泌尿器一般 奈良県立医科大学医学博士、日本泌尿器科学会専門医・指導医
 日本がん治療認定医機構がん治療認定医、大阪公立大学医学部臨床教授
 日本化学療法学会抗菌化学療法認定医、日本内分泌学会内分泌代謝科(泌尿器科)専門医

泌尿器科部長

伊丹 祥隆

ITAMI YOSHITAKA



専門分野 資格 / 専門医 / 指導医等
 泌尿器腫瘍、尿路結石 奈良県立医科大学医学博士、日本泌尿器科学会専門医・指導医
 排尿障害 日本がん治療認定医機構がん治療認定医、泌尿器腹腔鏡技術認定医
 手術支援ロボットダビンチコンソールサージョン資格
 泌尿器ロボット支援手術プロクター認定医

名前	役職	専門分野	資格・専門医・指導医等
飯田 孝太 いだこうた	副部長	泌尿器一般	奈良県立医科大学医学博士、日本泌尿器科学会専門医・指導医 日本がん治療学会認定医機構がん治療認定医 泌尿器腹腔鏡技術認定医
林 百合子 はやしゆりこ	医員	泌尿器一般	
成田 光輔 なりたこうすけ	医員	泌尿器一般	
平尾 佳彦 ひらおよしひこ	非常勤医師		

診療内容・特色

大阪市西部地区の基幹施設として、主な泌尿器科疾患に対して診療しています。

2010年夏にIMRT（強度変調放射線治療機：Novalis Tx）を導入し、治療の選択肢の幅が広がりました。

また、当科で得意としてきた排尿障害（前立腺肥大症・過活動膀胱・間質性膀胱炎・尿失禁）に対してQOLを重視した薬物療法および手術療法、尿路結石に対する体外衝撃波碎石術（ESWL）および軟性鏡によるレーザー碎石術、泌尿器科がんに対する外科的手術、さらに2023年12月には手術支援ロボット「ダヴィンチ」を導入したことで、より一層進化させ、皆さんに高品質の泌尿器科治療を提供しています。

対象疾患

腎腫瘍

腫瘍の大きさによっては、腎臓を保存し腫瘍のみを摘出する部分手術を行っています。腎臓の摘出が必要な場合は、開腹手術および体腔鏡下手術を行っています。

膀胱腫瘍

経尿道的内視鏡手術が中心ですが、悪性度が高く、進行した腫瘍に対しても集学的治療（手術、放射線、薬物療法を組み合わせた治療）を行い、可能であれば膀胱温存を目指した治療を行っています。

前立腺がん

年齢や病気の進行具合など総合的判断により治療方針を決定します。ホルモン治療、手術治療、放射線治療などを組み合わせて治療します。診断のための検査（針生検）は、日帰り手術センター（詳細 P56）を利用して1泊入院で腰椎麻酔下にて12ヶ所生検を行っています。検査による重篤な合併症は、ほぼ皆無です。

前立腺肥大症

薬物療法および経尿道的内視鏡手術が中心ですが、患者さんの希望をできるだけ尊重して治療を決定します。特に経尿道的内視鏡手術では、内圧尿流検査（Pressure-flow study：PFS）を行い、適応を決定しています。

尿管結石

尿路結石治療に対しては、1997年に体外衝撃波結石破碎装置（ウルフ社製 ピエゾリス 2500）を導入、2008年2月より体外衝撃波結石破碎装置（ウルフ社製 ピエゾリス 3000）に更新。さらに2023年2月よりドルニエ社製コンパクトシグマへ新規更新しています。現在までに7,600例以上の治療を行っています。結石の部位によって、あるいは体外衝撃波結石破碎装置にて、碎石不良や碎石不可能な場合には、内視鏡を用いて経皮的碎石術や経尿道的碎石術を行っています。また、碎石後の結石分析から結石成分に合わせた食事指導等を実施し、患者さんの再発防止に努めています。体外衝撃波碎石治療は、日帰り手術センターを利用して行います。

体腔鏡下手術

低侵襲手術の代表である体腔鏡下手術は、副腎疾患や腎疾患を中心に行っています。

治療実績・診療実績

治療内容概要

2024年度：入院統計

2024年度：手術統計

入院実人数 **878**人
(昨年 812人)

平均在院日数 **7.2**日
(昨年 7.5日)

ESWLを除く総件数 **502**件
(昨年手術室使用 412件)

ESWL新規患者 **47**人
(昨年 65人)

2024年度手術実績

治療部位・施術	件数	
尿管	根治的腎摘除術(開腹)	2
	根治的腎摘除術(腹腔鏡下)	3
	単純腎摘除術(腹腔鏡下)	2
	腎がん・部分切除術(ロボット支援)	6
	腎・尿管摘除術(腹腔鏡下)	6
	腎盂形成術(ロボット支援)	1
	経尿道的尿管結石除去術	116
	尿管鏡	14
	経皮経尿道的結石碎石術	8
	腎周囲膿瘍ドレナージ術	1
	尿管ステント留置術	11
	メタル尿管ステント留置術	2
腎生検	1	
膀胱	膀胱全摘・回腸導管	2
	膀胱全摘・尿管皮膚瘻	1
	経尿道的膀胱腫瘍切除術	87
	経尿道的膀胱結石碎石術	19
	膀胱内凝血除去術	8
	膀胱切石術	1
	膀胱憩室経尿道的電気凝固術	1
尿道	尿道狭窄内視鏡手術	8
	尿道脱切除術	1
陰嚢、精巣、精管および陰茎	両側精巣摘除術(去勢術)	3
	陰嚢水腫手術	6
	精液瘤根治術	2
	環状切開術	11
	高位精巣摘除術	1
	単純精巣摘除術	1
	精索捻転手術	1
	陰茎裂傷修復術	1
	精巣外傷白膜修復術	1
	陰茎腫瘍切除術	1
	陰茎コンジローマ焼灼術	5
陰茎海绵体膿瘍ドレナージ術	1	
前立腺	前立腺悪性腫瘍切除術(ロボット支援)	23
	経尿道的前立腺切除術	25
	前立腺吊上げ術	1
	前立腺針生検	148
その他	肛門周囲腫瘍切除術	1

患者数
2024年度

外来患者延数
(月平均 1122.8人)

13,473人

入院患者延数
(月平均 584.5人)

7,014人

連携医療機関の先生方へメッセージ

気軽にお問い合わせください。予約外での紹介も一向に構いませんので、よろしくお願いいたします。

形成外科 *Plastic Surgery*

患者さんのご希望もよく聞いた上で一番納得のいく方法を提供

あらゆる先天性・後天性の変形を外科的手段などにより正常に近づけ、患者さんの肉体的・精神的苦痛を取り除くことを目的としています。

スタッフ体制

形成外科部長 **若見 暁樹**
WAKAMI SATOKI



専門分野 **資格 / 専門医 / 指導医等**

顎顔面外科、口唇顎口蓋裂 大阪市立大学(現：大阪公立大学)医学博士
小耳症、手足先天異常 大阪市立大学(現：大阪公立大学)臨床教授
乳房再建 日本形成外科学会専門医・指導医、皮膚腫瘍外科指導専門医
小児形成外科分野指導医、日本形成外科学会評議員、乳房再建実施施設責任医師

名前	役職	専門分野	資格・専門医・指導医等
上野 真理恵 うえの まりえ	副部長	形成外科一般	日本形成外科学会専門医・指導医
入潮 実季 いりしお みき	医員	形成外科一般	弾性ストッキング・圧迫療法コンダクター 3TO(VHO) 巻き爪矯正法ライセンス
鈴木 里咲 すずき りさ	医員	形成外科一般	
森岡 茉莉莉 もりおか まりり	医員	形成外科一般	

診療内容・特色

顔面骨骨折の治療、眼瞼下垂、乳房の再建、先天性の症状(口唇裂・口蓋裂、小耳症、多指(趾)症)、やけどやけがによる症状(変形・傷跡)、後天性の症状(皮膚腫瘍や軟部組織腫瘍、しみやあざ)、美容的な要素を持つ症状(包茎・でべそ・わきが)などの治療を行っています。「あざ」に関しては、Qスイッチ付ルビールーザーによる治療を行っています。

対象疾患

- ・顔面骨(額、頬骨、上下の顎、鼻)の骨折
- ・口唇裂・口蓋裂など顎顔面の先天異常
- ・小耳症・埋没耳などの耳介変形
- ・多指(趾)症・合指症などの手足の異常
- ・生まれつきの眼瞼下垂、漏斗胸、陥没乳頭、でべそなど
- ・やけどやけがによって受けた変形や傷跡、手術や外傷後の傷跡
- ・できもの・こぶ(皮膚・皮下腫瘍、軟部組織腫瘍)、しみやあざ(色素沈着症・母斑)、血管腫
- ・顔面神経麻痺や頭頸部がん術後の再建
- ・乳がん術後の乳房再建
- ・美容的なもの(鼻が低い、加齢性の眼瞼下垂、包茎、わきが、巻き爪など)

治療実績・診療実績

手術実績<2024年1~12月>

症例	件数
外傷	110
先天異常	58
腫瘍	282
瘢痕・瘢痕拘縮・ケロイド	50
難治性潰瘍	119
炎症・変性疾患	47
美容(手術)	0
その他	140
Extra レーザー治療	3

患者数
2024年度

外来患者延数
(月平均 464.0人)

5,568人

入院患者延数
(月平均 147.1人)

1,765人

連携医療機関の先生方へメッセージ

2025年4月現在、形成外科はスタッフ5名体制と増員し診療にあっております。地域医療に貢献するため連携医療機関の皆さまとの連携を密にするのにより、ご相談がありました症例ごとに最善の治療を選択、提供できるようスタッフ全員が日々研鑽しております。上にあげた対象疾患以外にも体表全般に出現した疾患でお困りのことなどありましたら何なりとご相談いただきましたら幸いです。

耳鼻咽喉科 *Otolaryngology*

07

経鼻内視鏡手術、短期滞在手術

内視鏡を用いた鼻副鼻腔の手術に力を入れており、安全でご負担の少ない治療を提供することを心がけています。お薬の治療などでなかなか症状が軽快しないアレルギー性鼻炎、鼻副鼻腔炎、鼻中隔彎曲症に対する経鼻内視鏡手術について特に力を入れています。

2023年度より日本鼻科学会から鼻科手術認可研修施設の認定を受け、三重大学准教授の小林正佳先生を招請し、ご指導いただきながらより正確で安全な経鼻内視鏡手術を追究しています。2024年度からは、すべての副鼻腔手術にナビゲーションシステムを導入し、より安全で正確な手術を行っています。

また、経鼻内視鏡手術を含め、中耳炎手術や咽喉頭手術でも可能な限り日帰り、短期滞在手術を行っています。

スタッフ体制

耳鼻咽喉科部長

天津 久郎

AMATSU HISAO

専門分野 資格 / 専門医 / 指導医等

経鼻内視鏡手術 日本耳鼻咽喉科学会専門研修指導医
咽喉頭手術 日本気管食道科学会認定気管食道科専門医
咽頭摘出後の代用音声 日本がん治療認定医機構がん治療認定医

名前	役職	専門分野	資格・専門医・指導医等
平山 靖子 ひらやま やすこ	医員	耳鼻咽喉科一般 経鼻内視鏡手術	
衣笠 竜成 きぬがさ りゅうせい	医員	耳鼻咽喉科一般	
弘中 まり ひろなか まり	医員	耳鼻咽喉科一般	

診療内容・特色

対象疾患

耳疾患

- ・難聴(老人性難聴、急性感音難聴)
- ・中耳炎(急性中耳炎、滲出性中耳炎、真珠腫性中耳炎)
- ・顔面神経麻痺
- ・めまい(良性発作性頭位めまい症、前庭神経炎、メニエール病)

鼻疾患

- ・アレルギー性鼻炎
- ・副鼻腔炎、鼻ポリープ
- ・嗅覚障害

咽喉頭疾患

- ・急性咽喉頭炎
- ・扁桃炎
- ・声帯ポリープ、浮腫性声帯、声帯結節
- ・嚥下障害

【中耳炎】

中耳に滲出液が溜まる状態(滲出性中耳炎)が長引くと難治性の中耳炎を発症することがあり、鼓膜チューブ留置が望ましいことがあります。成人であれば局所麻酔、小児であれば全身麻酔での鼓膜チューブ留置を日帰りで行います。鼓膜が穿孔し、聴力低下、耳漏が生じる慢性中耳炎には鼓膜閉鎖のための手術を行います。

鼓膜の一部が中耳内に陥凹し、進展する真珠腫性中耳炎には入院での手術治療を行っています。

【慢性副鼻腔炎、好酸球性副鼻腔炎】

内服治療や処置治療でも鼻水や鼻づまりが続く慢性副鼻腔炎や好酸球性副鼻腔炎では、手術を行うことにより改善が期待できます。内視鏡を用いて鼻の中を観察しながら手術をします。通常 4 日前後の入院ですが、病状や病院までの来院時間、ご年齢、合併症の有無に応じて、日帰り、一泊の短期間の入院でも治療を行っています。

【咽喉頭疾患】

急性の咽喉頭感染症、膿瘍性疾患、咽喉頭の腫瘍性病変に対応しています。

治療実績・診療実績

2024年度手術実績

治療部位・施術	(件)
耳科手術	73
鼓室形成術	1
鼓膜チューブ挿入術	22
乳突削開術	1
鼓膜切開術	48
先天性耳瘻管摘出術	1
鼻科手術	256
内視鏡下鼻・副鼻腔手術Ⅱ～Ⅴ型	95
内視鏡下鼻中隔手術Ⅰ型(骨・軟骨手術)	54
鼻骨変形治療骨折矯正術(形成外科合同)	4
内視鏡下鼻科手術Ⅰ型(下鼻甲介手術)	54
下甲介粘膜レーザー焼灼術	38
経上顎洞の顎動脈結紮術	2
鼻副鼻腔腫瘍摘出術	2
経鼻腔的翼突管神経切除術(後鼻神経切断術)	4
鼻茸摘出術	2
経鼻的下垂体腫瘍摘出術(脳神経外科合同)	1
口腔咽喉頭手術	82
扁桃摘出術	62
アデノイド切除術(経鼻)	6
アデノイド切除術(経口)	2
喉頭微細手術	4
鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(消化器内科合同)	1
扁桃周囲膿瘍切開術	7
頭頸部手術	12
耳下腺腫瘍摘出術	1
頬部膿瘍切開術	1
唾石摘出術	1
気管切開術	9

※両側性の臓器(例・鼻副鼻腔)の手術は側数で示しています。

患者数：2024年度

外来患者延数 **7,148**人
(月平均 595.7人)

入院患者延数 **6,981**人
(月平均 581.8人)

連携医療機関の
先生方へメッセージ

皆さま、どうぞよろしくお願いいたします。

皮膚科 *Dermatology*

08

アレルギー疾患をはじめとした皮膚科全般に対応

当科では皮膚科一般疾患を幅広く扱っています。「皮膚は内臓の鏡」ともいわれ、皮膚の状態から糖尿病をはじめとした内科疾患が見つかることもまれではありません。お肌に来たものは何でもご相談ください。皮膚科全般（アレルギー疾患・皮膚感染症・熱傷・皮膚腫瘍など）に対応しています。症状のみでは診断が困難な症例に対しては、皮膚生検を施行し、次の治療を進めています。生物学的製剤使用承認施設であり、乾癬、化膿性汗腺炎、掌蹠膿疱症などに対する注射治療にも対応しています。

スタッフ体制

皮膚科部長

中井 大介

NAKAI DAISUKE



専門分野

皮膚科一般

資格 / 専門医 / 指導医等

日本皮膚科学会皮膚科専門医
下肢創傷処置・管理のための講習会修了
臨床研修指導医
弾性ストッキング・圧迫療法コンダクター
緩和ケア研修会修了

診療内容・特色

対象疾患

湿疹
皮膚炎

アトピー性皮膚炎 / 乳児湿疹
蕁麻疹 / 手湿疹 / 皮脂欠乏性湿疹皮膚
そう痒症 / 脂漏性皮膚炎
接触皮膚炎 / 虫刺症 / 掌蹠膿疱症
乾癬 / 脱毛症 / 白斑 / 日光皮膚炎 / 薬疹

感染症

水虫 / ざ瘡 / 带状疱疹
口唇ヘルペス / 伝染性膿痂疹
伝染性軟属腫 / 疣贅 / 疥癬

その他

皮膚腫瘍 / 熱傷 / 鶏眼 / 胼胝
陥入爪 / 下腿潰瘍 / 凍瘡
膠原病および血管炎の診断

治療実績・診療実績

2024 年度

施術	(件)	
皮膚生検	142	
手術	皮膚腫瘍切除術	62
	皮膚悪性腫瘍切除術	12
	皮膚切開術	85

患者数：2024 年度

外来患者延数 **6,535** 人 (月平均 544.6 人)

入院患者延数 **322** 人 (月平均 26.8 人)

連携医療機関の先生方へメッセージ

2025 年 5 月より生物学的製剤使用承認施設となりました。難治性のアトピー性皮膚炎、蕁麻疹、尋常性乾癬に対する注射治療全般に対応可能です。手術も積極的にっており、皮膚悪性腫瘍においても診断から治療まで出来る限り負担の少ない治療を提案いたします。一人常勤ではありますが、他科の医師、研修医や他職種とのチーム医療を行い、総合的に幅広い領域に積極的に関わっていきたくと思っています。

救急科 (ER) *Emergency Department*

09

各診療科との良好な連携により年間約 8,000 件を受け入れる

各専門科の密接な協力のもと、救急科専門医 3 名及び研修医にて疾病・外傷の別を問わずあらゆる重症度の患者さんの初期診療を行います。救急室内に X 線・CT 撮影装置を設置して迅速な診療に努めており、2024 年度は 8,185 件の救急搬送受け入れを行いました。

スタッフ体制

救急科部長

柳 英雄

YANAGI HIDEO



専門分野 …… 資格 / 専門医 / 指導医等 ……

救急一般 専門医機構認定救急科専門医、日本災害医学会認定災害医療ロジスティクス専門家
大阪府災害医療コーディネーター
大阪府大阪市地域救急メディカルコントロール協議会委員
DMAT 登録者、統括 DMAT 登録者、DMAT ロジスティックチーム隊長

ICU 専任部長

小畑 仁司

KOBATA HITOSHI

<詳細 P12 脳神経外科をご参照ください>

兼 脳神経外科・救急科顧問

名前	役職	専門分野	資格・専門医・指導医等
安部 嘉男 あべよしお	顧問	高次救急、救急一般 外傷外科、消化器外科 シヨック管理	専門医機構認定救急科専門医、日本救急医学会認定指導医
升井 淳 ますいじゅん	医長	救急・集中治療 消化器外科、公衆衛生	専門医機構認定救急科専門医、日本外科学会専門医 日本 DMAT 隊員、大阪府災害医療コーディネーター
橋本 純子 はしもとじゅんこ	医員	救急一般	
中島 一 なかじまはじめ	医員	救急一般	

治療実績・診療実績

救急搬送件数 / ER 総受診患者数



連携医療機関の先生方へメッセージ

よろしくお願いたします。

外科/
消化器外科

脳神経外科/
神経・脳卒中
センター

整形外科/
スポーツ
整形外科

リハビリ
テーション科

泌尿器科

形成外科

耳鼻咽喉科

皮膚科

救急科
(ER)

麻酔科

放射線
診断科

婦人科

歯科

総合診療
内科

感染症内科/
呼吸器内科

糖尿病
内分泌
代謝内科

循環器内科

消化器内科

脳神経内科/
神経・脳卒中
センター

腫瘍内科/
がん薬物
療法センター

小児科

がん診療
センター

乳腺科

高精度
放射線治療
センター

緩和医療科

日帰り手術
センター

内視鏡
センター

看護部/
看護外来

KHS
(きつこう会)

社会
福祉法人
電望会

外科/
消化器外科

脳神経外科/
神経・脳卒中
センター

整形外科/
スポーツ
整形外科

リハビリ
テーション科

泌尿器科

形成外科

耳鼻咽喉科

皮膚科

救急科
(ER)

麻酔科

放射線
診断科

婦人科

歯科

総合診療
内科

感染症内科/
呼吸器内科

糖尿病
内分泌
代謝内科

循環器内科

消化器内科

脳神経内科/
神経・脳卒中
センター

腫瘍内科/
がん薬物
療法センター

小児科

がん診療
センター

乳腺科

高精度
放射線治療
センター

緩和医療科

日帰り手術
センター

内視鏡
センター

看護部/
看護外来

KHS
(きつこう会)

社会
福祉法人
電望会

麻酔科 *Anesthesiology*

患者さんの安全第一とともに安心を与えることをモットーに

患者さんの安全を第一とするとともに、安心を与えることを大切にしています。そのため、術前術後の回診を入念に行っています。特に高齢者とのコミュニケーションには注意を払い、常用薬剤・合併症の有無をチェックし、必要な場合には術前日であっても追加検査を行い、安全を確認しています。常勤医6名で全身麻酔と硬膜外麻酔の全症例及び脊椎麻酔症例の全ての管理を行っています。緊急手術の麻酔に対しては、オンコール制を採っており、依頼後40分以内には麻酔を開始できるようにしています。当院が精力的に取り組んでいる日帰り手術の麻酔については、特に安全を考慮した麻酔方法を行っており優れた実績をあげています。

スタッフ体制

麻酔科部長

棚橋 識生

兼 日帰り手術センター副センター長

TANAHASHI NORIO



専門分野 資格 / 専門医 / 指導医等

麻酔全般 厚生労働省許可 麻酔科標榜医
ペインクリニック 日本麻酔科学会認定麻酔専門医・指導医

名前	役職	専門分野	資格・専門医・指導医等
坂口 豪 さかぐち こう	副部長	麻酔全般	厚生労働省許可麻酔科標榜医、日本麻酔科学会麻酔指導医 専門医共通機構認定麻酔専門医
三馬 葵 さんま あおい	副部長	麻酔全般	厚生労働省許可麻酔科標榜医、日本麻酔科学会麻酔指導医 専門医共通機構認定麻酔専門医
中川 由紀子 なかがわ ゆきこ	副部長	麻酔全般	厚生労働省許可麻酔科標榜医、日本麻酔科学会麻酔指導医 専門医共通機構認定麻酔専門医
柴田 梢 しばた こずえ	医長	麻酔全般	厚生労働省許可麻酔科標榜医、日本麻酔科学会麻酔指導医 専門医共通機構認定麻酔専門医
岡田 俊樹 おかだ としき	医員	麻酔全般	厚生労働省許可麻酔科標榜医、日本麻酔科学会麻酔指導医 専門医共通機構認定麻酔専門医

診療内容・特色

当科は、大阪大学医学部麻酔科の協力のもと、1995年に開設されて以来30年目を迎えました。麻酔科専門の常勤医が6名で定時手術はもちろん、緊急手術への対応をはじめ手術室運営や疼痛治療に対しても積極的に取り組んでおり、現在年間総手術件数3,276件、麻酔科管理症例数は年間2,714件を数えています。

治療実績・診療実績

2024年度手術件数

(件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
各科別	脳外科	26	20	13	19	15	13	14	16	16	19	14	11	196
	外科	108	84	86	94	86	102	103	101	103	107	91	103	1,168
	整形	55	64	52	47	53	46	47	48	54	50	54	54	624
	泌尿器	44	42	42	47	49	39	43	37	41	36	45	39	504
	耳鼻科	12	11	7	15	14	10	15	11	12	10	9	11	137
	形成	40	46	50	49	45	36	57	46	34	35	38	47	523
	婦人科	6	3	4	3	3	7	8	3	4	6	5	3	55
	皮膚科	1	4	5	3	2	4	7	4	3	9	2	8	52
	消内	2	2	0	3	1	1	0	0	1	2	1	3	16
	歯科	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
合計		295	276	259	280	268	258	294	266	268	274	259	279	3,276

(件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
麻酔別	全麻・全硬	186	166	152	179	158	156	171	158	161	168	142	162	1,959
	脊麻	60	60	55	57	64	52	64	64	66	59	79	60	740
	伝麻	2	0	3	0	2	3	2	1	0	0	0	2	15
	局麻	43	48	45	41	39	43	53	43	38	42	36	48	519
	その他	4	2	4	3	5	4	4	0	3	5	2	7	43
合計		295	276	259	280	268	258	294	266	268	274	259	279	3,276

(件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
区分①	定期	245	243	217	245	224	228	261	232	225	212	227	244	2,803
	時間内緊急	24	17	17	7	20	15	16	17	11	26	7	12	189
	時間外緊急	26	16	25	28	24	23	17	17	32	36	25	23	292
	合計	295	276	259	280	268	266	294	266	268	274	259	279	3,284

連携医療機関の先生方へメッセージ

安全で質の高い周術期管理を提供いたしますので、よろしくお願い申し上げます。

放射線診断科

Radiology Diagnostic Department

11

診断に必要な情報を正しく安全に抽出する検査を実施

放射線診断科では256列MDCTと64列MDCT、3TMRI、1.5TMRI、血管撮影装置(心臓用・頭部・腹部用)、CR、RI、X線TVなどを揃え、各種医用画像の作成と診断、カテーテル治療を主な業務としています。

 スタッフ体制

放射線診断科部長

松尾 良一

MATSUO RYOICHI



放射線診断科部長

兼 遠隔画像診療部部長

濱澤 良将

HAMAZAWA YOSHIMASA



専門分野

血管造影、診断全般

資格 / 専門医 / 指導医等

日本医学放射線学会放射線診断専門医
日本インターベンショナルラジオロジー学会専門医

専門分野

MRI・CTを中心とする画像診断、核医学

資格 / 専門医 / 指導医等

大阪市立大学医学博士、日本医学放射線学会放射線診断専門医
日本核医学会専門医、PET 核医学認定医

名前	役職	専門分野	資格・専門医・指導医等
池本 美奈子 いけもと みなこ	副部長	画像診断	日本医学放射線学会放射線診断専門医
谷口 明繁 たにくち あきしげ	副部長	画像診断	日本医学放射線学会放射線診断専門医

 診療内容・特色

院内だけでなく、近隣の開業医の先生方を中心に他の医療機関からのご依頼にも対応させていただいています。また、マンモグラフィ検診施設・画像認定施設として、大阪市などからの検診も実施しています。

検査装置

検査装置の更新・増設を行い、充実を図っています。



【CT】

CTは256列MDCTと64列MDCT2台に更新し、2台ともdual energyに対応しています。また、得られた画像データを最大限に活用するために、画像解析や3次元画像作成を行う最新鋭のワークステーションを大幅に増設しました。そのため、内視鏡手術などにおいてより詳細な術前情報が取得可能となり、ナビゲーションシステムを用いた手術の術前シミュレーションもより容易となります。

256列・64列MDCTを2台設置



【MRI】

MRIは3T、1.5T各1台の2台を設置しています。画質の向上、迅速な撮影が可能で、頭部、脊椎、関節の検査内容の充実だけでなく、腹部、胸部においても、最高レベルの画像の提供が可能です。

3T・1.5T MRIを2台設置



血管撮影装置(頭部・腹部用、心臓用)、一般撮影装置、X線TV(フラットパネル)、骨塩定量装置も更新し、今後求められるより迅速な検査、高精度の診断、より高度な治療に対応いたします。

 治療実績・診療実績

検査実績<2024年1~12月>

検査内容	件数
CT	30,821
MRI	7,623
マンモグラフィ	662
RI	291
頭部血管撮影	159
腹部血管撮影	18
心臓血管撮影	263

 連携医療機関の先生方へメッセージ

当科は地域の先生方のお力になれるよう、検査目的に合った検査計画の立案と、正確・迅速な読影レポートの作成を心がけています。これからも何卒よろしくお願い申し上げます。

婦人科 *Gynecology*

12

女性医師による診察、手術治療まで 専門性 + 共感 女性医師だからできるサポートがあります

子宮筋腫、卵巣腫瘍などの婦人科良性疾病を中心に、薬物療法から手術治療まで当院で対応しています。月経痛や月経異常、各種感染症検査、大阪市子宮がん検診を含む一般婦人科検診など幅広く対応いたします。婦人科悪性腫瘍に対しては検査・診断は行っておりますが、治療に関しては一部を除き対応しておりません。当科で対応できない疾患に関しては周辺の医療機関と連携しておりますので、ご紹介させていただきます。

スタッフ体制

婦人科部長

塚原 稚香子

TSUKAHARA CHIKAKO



専門分野 資格 / 専門医 / 指導医等

婦人科 日本産科婦人科学会専門医・指導医
骨盤臓器脱 日本産科婦人科内視鏡学会認定技術認定医
腹腔鏡手術 日本女性心身学会認定更年期指導士
ロボット手術

名前	役職	専門分野	資格・専門医・指導医等
中川 美生 なかがわ みお	副部長	婦人科、産科 婦人科腫瘍	日本産科婦人科学会専門医、日本女性心身学会認定更年期指導士

診療内容・特色

手術内容

術式	適応
子宮鏡下手術	子宮内膜ポリープ、子宮粘膜下筋腫
開腹手術	子宮筋腫など子宮良性疾患、卵巣良性疾患 など
腹腔鏡下手術	子宮筋腫など子宮良性疾患、卵巣良性疾患 など
腔式手術	子宮脱を含む骨盤臓器脱疾患 など

※悪性疾患に対する手術治療は当院では対応していませんが、子宮頸部円錐切除術、子宮内膜組織検査などの診断は可能です。

婦人科専門外来

1. 専門外来の対象疾患

当院では一般婦人科外来とは別に3つの専門外来 ① ウロGINE外来 ② 思春期外来 ③ 更年期外来 を設けています。一般婦人科外来でも一部対応可能ですが、専門外来を設けることでより受診しやすい体制となっております。

2. 専門外来の受診について

専門外来は完全予約制になります。予約制にすることで、待ち時間など患者さんの負担を軽減し、スムーズな受診を実現できるものと考えております。ご理解とご協力をお願いします。

婦人科

■ ウロGINE外来

ウロGINE外来とは骨盤臓器脱を専門とした外来です。子宮脱、膀胱瘤、直腸瘤といった骨盤臓器脱や尿漏れなどの排尿障害を専門に治療する外来です。基本的に良性の疾患ではありますが、治療する前に検査をすると子宮や卵巣にがんや卵巣嚢腫など治療すべき疾患が偶然発見されることもあります。そのため当院では良性の疾患であっても、まずはしっかり検診も行った上で治療を開始させていただく方針にしています。

骨盤臓器脱の治療

患者さんの症状や生活環境によって治療を提案させていただきます。

1) 保存的治療

① 骨盤底筋体操の指導 ② ペッサリーリング(腔内リング) ③ フェミクッション ④ 骨盤底サポーター

2) 手術治療

① 腔式手術(腔形成術、腔閉鎖術、腔断端固定術、子宮全摘術など) ② TVM手術(腔式メッシュ手術)

③ 腹腔鏡下・ロボット支援下仙骨腔固定術

手術内容は患者さんの病状によって相談の上決定します。手術を無理に勧めることはいたしません。手術は骨盤臓器脱手術を専門とする手術経験豊富な医師により行います。

■ 思春期外来

- ・思春期外来は小学生～高校生、主に10代女性を対象とした婦人科専門外来です。月経痛が強く通学・学習に支障が出ている、月経量が多い、月経が来ない、など月経に関連した外来です。
- ・原則内診による診察は行いません(感染症など内診が診断治療上必要とされる場合は、ご相談の上行う場合があります)。

■ 更年期外来

- ・更年期外来は、主に40～50代の更年期症状にお悩みの方を対象とした外来です。更年期・更年期障害とは閉経前の5年間と閉経後の5年間を併せた10年間を指し、概ね45歳～55歳の方があてはまります。
- ・この時期に現れる症状のうち、原因となる疾患がなく、日常生活に支障を来すものを更年期障害といいます。顔のほてりや発汗、めまい、肩こり、頭痛、疲れやすさ、イライラなどその症状は多彩です。更年期は、女性ホルモンの低下や加齢による身体面の他に、家庭や職場などの環境面、それらに伴う精神面の大きな変化を受ける時期です。当院の更年期外来は、「今もそしてこれから先の人生も大切にするためにできること」を共に考え、実践していきます。

更年期外来で行うこと(一般的な診察の流れ)

- ① 婦人科を初めて受ける方向けの問診票の他、現在感じている症状についての問診票を記入していただきます。
- ② 現在の状態を評価するために、婦人科で一般的に行う診察(子宮頸部及び体部細胞診やエコーなど)をまず行います。
- ③ 閉経後は脂質異常症や骨粗鬆症などの疾患が増えてきます。これらは、すぐに自覚できるものではありませんが、将来への影響を考慮して、血液検査や骨密度検査なども行います。
- ④ 更年期障害の治療を考える上で、原因となるような疾患がないかを確認することはとても重要です。症状により、他の診療科への受診をお勧めすることもあります。
- ⑤ 各種の検査結果を確認、既往歴なども考慮し、治療を検討していきます。ホルモン補充療法(HRT)や漢方薬などを症状に合わせて処方し、定期的に通院いただくことで症状の緩和を図ります。

更年期外来で使用する薬剤

ホルモン補充療法(HRT)、漢方薬、プラセンタ注射(メルスモン)

HPVワクチン外来

2日前(同じ週の火曜日)12時までの予約が必要です。当院ではHPVワクチンは、9価ワクチン(シルガード)を採用しています。

連携医療機関の先生方へメッセージ

当科では女性医師による診察、治療を行っています。月経がはじまった小学生の学童児から閉経期を超えた女性まで、幅広い年齢層に対応しております。小さなお悩みでも構いません。お困りのご症例がございましたらお気軽にご紹介ください。

歯科 (外来は要紹介) *Dentistry*

総合病院の利点を生かした治療・検査

総合病院の利点を生かした治療、検査を実現いたします。
 歯科の外来は紹介のみとなりますので、当院の地域情報連絡室などにご相談、お問い合わせください。



スタッフ体制

歯科部長

岡本 美樹

OKAMOTO MIKI



専門分野

歯科一般



診療内容・特色

対象疾患

- ・虫歯 / 歯周病(歯槽膿漏)
- ・知覚過敏症
- ・親知らずの抜歯 / 抜歯
- ・差し歯 / 入れ歯 / ブリッジ / 歯冠修復 / インプラント
- ・歯髄炎
- ・予防充填 / フッ素塗布
- ・粘膜疾患
- ・顎関節症
- ・歯並びの矯正 / 噛み合わせ異常
- ・口臭
- ・歯石除去

治療実績・診療実績

(件)

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
4月	499	522	540	558	546
5月	461	452	492	575	525
6月	582	584	570	692	483
7月	574	569	559	594	549
8月	443	574	533	626	515
9月	509	547	620	566	456
10月	566	521	582	616	570
11月	519	552	541	557	504
12月	532	551	553	553	515
1月	514	591	613	593	559
2月	493	497	581	502	531
3月	607	536	724	573	511
合計	6,299	6,496	6,908	7,005	6,264

患者数：2024年度

外来患者延数

6,264人

(月平均 522.0人)

連携医療機関の先生方へメッセージ

有病者の歯科治療についてお困りのことがあればご相談ください。

総合診療内科 *General Medicine*

未診断の疾患や臓器を特定できない疾患など幅広く対応

内科は臓器別診療科に細分化される方向にありますが、初診の患者さんに対しては幅広い視野で診察にあたる必要があります。内科疾患は多岐にわたりますが、当院では、種々の訴えで来院される患者さんに幅広く対応し、鑑別診断を行い、的確な治療を行っていきたく考えています。
 具体的には、神経、消化器、循環器などの専門診療科がありますので、総合診療内科では、主としてそれ以外の内科疾患、未だ診断のついていない疾患、臓器を特定できない疾患を取り扱っています。入院診療においては、肺炎などの種々の感染症、不明熱、内分泌代謝疾患、専門診療を必要としない心疾患や呼吸器疾患を扱っています。



スタッフ体制

感染症内科部長

高宮 みさき

TAKAMIYA MISAKI

< 詳細 P36 感染症内科をご参照ください >

名前	役職	専門分野	資格・専門医・指導医等
赤峰 瑛介 あかみね えいすけ	副部長	消化管内視鏡診断 / 治療 消化器全般 総合内科	日本内科学会認定内科医・総合内科専門医・指導医 日本消化器内視鏡学会専門医・指導医、日本消化器病学会専門医 日本消化管学会胃腸科専門医 がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修 (PEACE) 修了
新田 洋介 にった ようすけ	副部長	糖尿病 内分泌代謝	日本内科学会認定内科医・総合内科専門医・指導医 日本糖尿病学会認定糖尿病専門医 日本内分泌学会認定内分泌代謝科専門医 内分泌代謝・糖尿病内科領域専門研修指導医
大館 秀太 おおたち しゅうた	医長	炎症性腸疾患 (IBD) 肝疾患、消化器全般 総合内科	日本内科学会認定内科医、日本消化器病学会専門医 がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修 (PEACE) 修了
森脇 和希 もりわき かずき	医員	循環器内科	日本心血管インターベンション治療学会認定医

【総合診療内科の外来担当表】

	月	火	水	木	金
9:00~11:00	赤峰 瑛介	大館 秀太	天久 康綯	高宮 みさき	新田 洋介
14:00~15:30	高宮 みさき	担当医	高宮 みさき	森脇 和希	並川 浩己



連携医療機関の先生方へメッセージ

該当される患者さんがいらっしゃいましたら、当院の予約センター<TEL: 06-6585-2729(直通)>までご連絡ください。

感染症内科 *Infectious Disease Medicine*

02

各科の縁の下の力持ちとして院内感染を防ぐ

感染症診療は、予防・診断・治療と多岐にわたります。その多くにおいて、1人の医療従事者で完結することは少なく、多くの人の協力が必要です。時には、保健所や他の医療機関の協力を得ることもあります。人々がつながり、社会が動き、そこに感染が起こることがあります。突きつめてしまえばそれだけのことですが、1980年代のHIV、2003年のSARS、2009年の新型インフルエンザ、2012年のMERS、そして2020年の新型コロナウイルス感染症と、それぞれ違いはあるものの、いずれもパニックや差別を引き起こしました。時代がすすんでも、「正しく恐れる」ことがどんなに困難であるか、あらためて思い知らされました。

現在、当院では感染症を専門とする医師は1人のため、感染症内科として独立した外来診療は行っていません。外来としては総合内科診療枠で一般内科診療を行っています。

院内では、院内感染対策および抗菌薬適正使用チームの一員として活動をしています。また、各科からの感染症診療に関するコンサルトに対して、助言や提案を行っています。感染症という各科の診療に関わりやすい面を活かして、各科の縁の下の力持ちとなり、役立つことができればいいと考えています。

 **スタッフ体制**

感染症内科部長 高宮 みさき

兼 総合診療内科 TAKAMIYA MISAKI



専門分野 …… 資格 / 専門医 / 指導医等 ……

感染症 日本内科学会認定内科医・総合内科専門医、日本感染症学会感染症専門医
日本化学療法学会抗菌薬適正使用指導医、日本エイズ学会認定医、ICD 制度協議会インフェクションコントロールドクター

連携医療機関の先生方へメッセージ

「感染症を正しく恐れる」ことが広まっていくことを願っています。

呼吸器内科 *Respiratory Medicine*

03

呼吸器疾患はご相談ください

咳、痰、息切れ、発熱、呼吸困難、胸痛などの症状やレントゲン異常などの患者さんを診療しています。疾患名では、風邪から急性気管支炎、肺炎、インフルエンザ、コロナウイルス、肺結核や肺非結核性抗酸菌症などを含む感染症、気管支喘息などのアレルギー疾患、喫煙に関連する COPD や肺がん、肺線維症のほか、膠原病関連肺疾患、急性呼吸促拍症候群などの間質性肺炎、じん肺や気胸などの診療を行います。可能な限り治療から症状の軽減を目指す診療を心がけています。当院で対応できない患者さんには、適切な施設へのご紹介を行っています。

 **スタッフ体制**

呼吸器内科副部長 天久 康綯

AMEKU KOKEN



専門分野 …… 資格 / 専門医 / 指導医等 ……

呼吸器疾患全般 日本呼吸器学会呼吸器専門医、日本内科学会総合内科専門医・認定内科医
一般内科疾患 日本結核・非結核性抗酸菌症学会結核・抗酸菌症認定医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医

連携医療機関の先生方へメッセージ

長引く咳、コントロール不良の喘息や急性疾患などお気軽にご紹介ください。

糖尿病 内分泌代謝内科 *Diabetology, Endocrinology and Metabolism*

04

血糖コントロール全般についてのコンサルトを中心に

糖尿病は2023年「国民健康・栄養調査」では予備軍の人を含めると、20歳以上の日本人の5～6人に1人が罹患している国民病です。一方で、ある程度進行するまでは自覚症状に乏しいため、放置されていたり、知らないうちに合併症が進んでいることも多いです。

また、高血糖状態では感染症にかかりやすく、重症化しやすいと言われており、特に手術の際には創部の感染や治療遅延にも影響します。

当科では院内患者さんの血糖コントロール全般についてのコンサルトを中心として、糖尿病性ケトアシドーシス、高浸透圧高血糖症候群のような血糖コントロール自体が直ちに命に関わるような急性代謝失調の対応も行います。

また、橋本病、パセドウ病のような甲状腺疾患や原発性アルドステロン症、クッシング症候群のような副腎疾患をはじめとする内分泌疾患も扱っています。なお常勤医1名の体制上、検査に人員を要する症例や遺伝子疾患など専門性の高い疾患が疑われる場合は高次医療機関に紹介することもあり、ご了承ください。

 **スタッフ体制**

内科副部長 新田 洋介

NITTA YOSUKE



専門分野 …… 資格 / 専門医 / 指導医等 ……

糖尿病 日本内科学会認定内科医・総合内科専門医・指導医
内分泌代謝 日本糖尿病学会認定糖尿病専門医、日本内分泌学会認定内分泌代謝科専門医
内分泌代謝・糖尿病内科領域専門研修指導医

連携医療機関の先生方へメッセージ

common disease を扱うことが多く、外来枠があふれて待ち時間が遅延する傾向があります。病状が落ち着いた患者さんは地域の連携医療機関でフォローアップいただければと存じますので、宜しくお願い申し上げます。

- 外科/消化器外科
- 脳神経外科/神経・脳卒中センター
- 整形外科/スポーツ整形外科
- リハビリテーション科
- 泌尿器科
- 形成外科
- 耳鼻咽喉科
- 皮膚科
- 救急科 (ER)
- 麻酔科
- 放射線診断科
- 婦人科
- 歯科
- 総合診療内科
- 感染症内科/呼吸器内科
- 糖尿病 内分泌代謝内科
- 循環器内科
- 消化器内科
- 脳神経内科/神経・脳卒中センター
- 腫瘍内科/がん薬物療法センター
- 小児科
- がん診療センター
- 乳腺科
- 高精度放射線治療センター
- 緩和医療科
- 日帰り手術センター
- 内視鏡センター
- 看護部/看護外来
- KHS (きつこう会)
- 社会福祉法人電望会

- 外科/消化器外科
- 脳神経外科/神経・脳卒中センター
- 整形外科/スポーツ整形外科
- リハビリテーション科
- 泌尿器科
- 形成外科
- 耳鼻咽喉科
- 皮膚科
- 救急科 (ER)
- 麻酔科
- 放射線診断科
- 婦人科
- 歯科
- 総合診療内科
- 感染症内科/呼吸器内科
- 糖尿病 内分泌代謝内科
- 循環器内科
- 消化器内科
- 脳神経内科/神経・脳卒中センター
- 腫瘍内科/がん薬物療法センター
- 小児科
- がん診療センター
- 乳腺科
- 高精度放射線治療センター
- 緩和医療科
- 日帰り手術センター
- 内視鏡センター
- 看護部/看護外来
- KHS (きつこう会)
- 社会福祉法人電望会

循環器内科 *Cardiology*

循環器専門医によるハイレベルな医療を提供

超高齢社会の進行に伴い、虚血性心疾患、心不全、不整脈といった循環器疾患は今後ますます増加することが予想され、地域医療における循環器内科の役割は極めて重要性を増しています。当科では、こうしたニーズに応えるべく、的確な診断と迅速な治療、慢性期までを見据えた一貫したフォローアップ体制のもと、循環器専門医によるハイレベルな医療を提供しています。地域の先生方との緊密な医療連携の下、患者さん本位の医療提供を実践することを私たちの使命とし、日々の診療に取り組んでいます。

スタッフ体制

内科統括部長

瓦林 孝彦

KAWARABAYASHI TAKAHIKO



専門分野 **資格 / 専門医 / 指導医等**
 内科 大阪市立大学医学博士、大阪公立大学臨床教授、日本内科学会認定内科医・指導医
 循環器内科 日本循環器学会認定循環器専門医、日本超音波医学会超音波専門医
 日本心臓病学会特別正会員(FJCC)、日本心血管インターベンション治療学会名誉専門医
 日本高血圧学会高血圧指導医、日本循環器学会近畿地方会評議員、日本内科学会近畿地方会評議員

循環器内科部長

土井 淳史

DOI ATSUSHI



専門分野 **資格 / 専門医 / 指導医等**
 内科、循環器内科 日本内科学会総合内科専門医・指導医、日本循環器学会認定循環器専門医
 不整脈 日本不整脈心電学認定不整脈専門医、ICD/CRT-D 植込み認定医

循環器内科部長

岩村 世晴

IWAMURA TOSHIHARU



専門分野 **資格 / 専門医 / 指導医等**
 内科、循環器内科 日本心血管インターベンション治療学会認定医
 虚血性心疾患

名前	役職	専門分野	資格・専門医・指導医等
高岡 奈央子 たかおか なおこ	副部長	循環器内科	日本内科学会総合内科専門医・指導医、日本循環器学会専門医 日本心血管インターベンション治療学会認定医 日本プライマリ・ケア連合学会認定医
田中 佐和 たなか さわ	医長	循環器内科	日本内科学会認定内科医、日本循環器学会専門医 日本心血管インターベンション治療学会認定医
塚本 拓也 つかもと たくや	医員	循環器内科	日本内科学会認定内科医
尾下 卓也 おした たくや	医員	循環器内科	
森脇 和希 もりわき かずき	医員	循環器内科	日本心血管インターベンション治療学会認定医

診療内容・特色

対象疾患

- 虚血性心疾患：急性心筋梗塞、不安定狭心症、労作性狭心症
- 心不全：拡張型心筋症、心サルコイドーシス、心アミロイドーシス など
- 不整脈：心房細動（発作性・持続性・長期持続性）、発作性上室性頻拍、心室頻拍など
- 心臓弁膜症：大動脈弁狭窄・閉鎖不全、僧帽弁閉鎖不全・狭窄、三尖弁閉鎖不全
- 大血管疾患：胸腹部大動脈瘤、急性／慢性大動脈解離 ●末梢動脈疾患：下肢閉塞性動脈硬化症
- 静脈疾患：深部静脈血栓症、急性肺血栓症

治療

(1) 虚血性心疾患への対応

■ 24 時間体制の緊急冠動脈インターベンション(PCI)

急性冠症候群では、時間が生命予後に直結します。当院では、24 時間体制で緊急カテーテル治療に対応し、迅速な検査・治療を実施しております。また、再発予防のための薬物治療を行い、一人ひとりの患者さんに最適な診断と治療を提供します。

■ 心臓 CT 検査による冠動脈評価

冠動脈疾患の初期診断には 256 列の高精度 CT 装置を用い、非侵襲的に冠動脈の評価が可能です。狭心症の早期発見、心筋梗塞の予防にも有用で、外来でも対応可能です。

■ 心臓カテーテル検査と冠動脈インターベンション

冠動脈疾患が疑われる場合には、心臓カテーテル検査による確定診断を行います。検査は、主に橈骨動脈アプローチで施行し、患者さんへの侵襲軽減に努めています。標準的に薬剤溶性ステントを使用し、血管内超音波を併用した画像ガイド下治療を行い、治療の精度を高めています。



左前枝の狭窄 PCI(ステント留置) PCI 後

(2) 不整脈治療とカテーテルアブレーション

■ 頻脈性不整脈への対応

2023 年より、心房細動をはじめとする頻脈性不整脈に対し、本格的にカテーテルアブレーション治療を開始し積極的に治療を行っています。高周波・クライオバルーン・パルスフィールドアブレーションといった多様な治療モダリティを、患者さんの特性に応じて適切に選択・実施しています。カテーテルアブレーションは薬物治療に比べ、より高い有効性が報告されています。

■ 心房細動治療の進化 - パルスフィールドアブレーション導入

当院でも 2025 年より導入されたパルスフィールドアブレーションは、高電圧を利用して心筋に選択的な細胞死を誘導し、周辺組織への影響を最小限に抑えることができる、新世代のアブレーション治療法です。安全性が高く、手技時間の短縮にも貢献するため、より負担の少ない治療が可能になりました。

また、抗凝固薬などの薬物治療を含め、包括的な心房細動管理を実施し、一人ひとりの患者さんに最適な治療を提供しています。

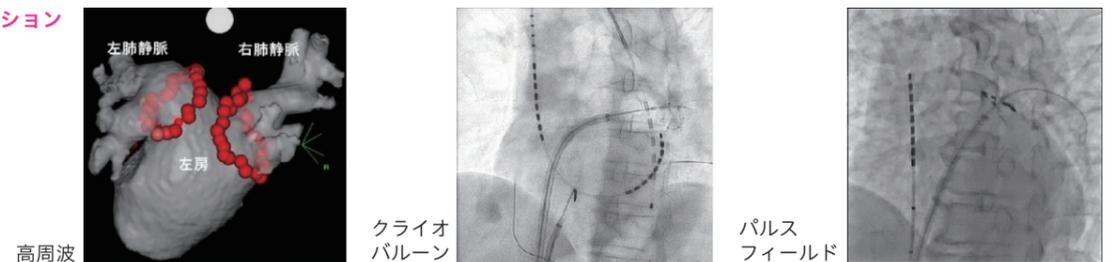
■ その他の対象不整脈と対応

- ・発作性上室性頻拍、WPW 症候群 ・心房粗動、心房頻拍
 - ・心室性期外収縮、特発性心室頻拍 ・複雑な心房粗動や心室頻拍にも対応可能
- 心臓の形態をリアルタイムに表示する最新の三次元マッピングシステム(CARTO®)を導入しており、再発例や難治性不整脈にも対応可能です。

■ 徐脈性不整脈/ペースメーカ対応

洞不全症候群、房室ブロックに対して、永久ペースメーカ植込み術を行います。

心房細動アブレーション (肺静脈隔離術)



高周波

クライオバルーン

パルスフィールド

連携医療機関の先生方へメッセージ

当院では、地域の先生方との双方向の連携を最重要視しております。急性期から慢性期、虚血性心疾患・不整脈・心不全と幅広く対応可能です。今後ともご紹介・ご相談を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

- 外科/消化器外科
- 脳神経外科/神経・脳卒中センター
- 整形外科/スポーツ整形外科
- リハビリテーション科
- 泌尿器科
- 形成外科
- 耳鼻咽喉科
- 皮膚科
- 救急科 (ER)
- 麻酔科
- 放射線診断科
- 婦人科
- 歯科
- 総合診療内科
- 感染症内科/呼吸器内科
- 糖尿病・内分泌・代謝内科
- 循環器内科
- 消化器内科
- 脳神経内科/神経・脳卒中センター
- 腫瘍内科/がん薬物療法センター
- 小児科
- がん診療センター
- 乳腺科
- 高精度放射線治療センター
- 緩和医療科
- 日帰り手術センター
- 内視鏡センター
- 看護部/看護外来
- KHS (きつこう会)
- 社会福祉法人電望会

消化器内科 *Gastroenterology*

患者ファースト・UP-DATEされた知識・高度な技術・最先端の機器で、良質な検査・治療を提供

当科は、内視鏡センター、消化器センターに所属。消化器疾患(食道・胃・十二指腸・小腸・大腸・肝・胆・膵)を緊急例から炎症性腸疾患(IBD)、がん治療まで幅広く診療しています。

嘔吐反射(えずぎ)の少ない経鼻内視鏡による胃カメラ、意識下鎮静法とUPDと高い内視鏡操作技術による無痛の大腸内視鏡検査を中心に、ARMS(内視鏡的逆流防止粘膜切除術)・ESD・ERCP・EUS・小腸カプセル内視鏡・小腸バルーン内視鏡などのより専門的な検査・治療も数多く行っています。

初診時には可能な限りその日に診断できるよう心がけています。次のステップとして、さらに検査を進めて診断を確実なものとし、治療については病状に対してだけでなく、QOLを考慮し治療方法を決定しています。

〈内視鏡センター(P58)もご参照ください〉

スタッフ体制

副院長

兼 消化器内科部長
兼 内視鏡センター長

浅井 哲

ASAI SATOSHI



専門分野	資格 / 専門医 / 指導医等
炎症性腸疾患(IBD)	日本内科学会認定内科医・総合内科専門医・指導医
逆流性食道炎(ARMS)	日本消化器病学会専門医・指導医、日本消化管学会胃腸科専門医・指導医
消化管内視鏡診断 / 治療	日本消化器内視鏡学会専門医・指導医、日本腹部救急医学会腹部救急認定医
肝胆膵疾患、消化器全般	日本がん治療認定医機構がん治療認定医、日本腹部救急医学会評議員
総合内科	日本消化管学会代議員、日本消化器内視鏡学会近畿支部評議員、日本消化器病学会近畿支部評議員 日本消化器内視鏡学会学術評議員、国内JGES(Fellow of JGES)

名前	役職	専門分野	資格・専門医・指導医等
赤峰 瑛介 あかみね えいすけ	副部長	消化管内視鏡診断 / 治療 消化器全般 総合内科	日本内科学会認定内科医・総合内科専門医・指導医 日本消化器内視鏡学会専門医・指導医、日本消化器病学会専門医 日本消化管学会胃腸科専門医
中尾 栄祐 なかお えいすけ	副部長	消化管内視鏡診断 / 治療 消化器全般	日本内科学会認定内科医・総合内科専門医・指導医 日本消化器内視鏡学会専門医・指導医、日本消化器病学会専門医 日本ヘリコバクター学会認定医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医
竹下 宏太郎 たけした こうたろう	副部長	肝胆膵疾患 消化器全般	日本膵臓学会指導医、日本胆道学会認定指導医、日本内科学会認定内科医 日本消化器病学会専門医、日本消化器内視鏡学会専門医、日本肝臓学会専門医
加納 由貴 かのう ゆき	医長	消化管内視鏡診断 / 治療 消化器全般	日本内科学会認定内科医、日本消化器内視鏡学会専門医 日本消化器病学会専門医
松尾 健司 まつお けんじ	医長	胆膵疾患 消化器全般	日本消化器内視鏡学会専門医、日本消化器病学会専門医 日本内科学会認定内科医
大館 秀太 おおたち しゅうた	医長	炎症性腸疾患(IBD) 肝疾患、消化器全般 総合内科	日本内科学会認定内科医 日本消化器病学会専門医

医員	久松 健人 ひさまつ けんと	橋村 友哉 はしむら ともや	島 佳弘 しま よしひろ	橋本 沙優里 はしもと さゆり	川崎 健生 かわさき けんせい	杉原 拓実 すぎはら たくみ
----	-------------------	-------------------	-----------------	--------------------	--------------------	-------------------

診療内容・特色

【消化器内視鏡 - 当科が最も得意とする分野】

年間 11,000 件以上の消化器内視鏡件数を有しており、内視鏡治療として逆流性食道炎 / 胃食道逆流症(GERD)に対するARMS/ARMP、食道・胃・大腸の早期がんに対するESD、食道胃静脈瘤に対するEVL・EIS、胆膵疾患に対するERCP・EUS、EUS-TA(Tissue Acquisition)、Interventional EUS、消化管・胆管メタリックステント留置術などを幅広く多く行っています。後述するように胆管炎や消化管出血などに対する緊急内視鏡も常時可能です。

日々の通常検査も常に「苦痛のない内視鏡検査」を心がけ、経鼻内視鏡・鎮静剤と鎮痛剤の併用・内視鏡挿入形状観測装置(UPD)など最新の技術と医師の持つ高い内視鏡操作技術を駆使し、えずかない胃カメラ・痛くない大腸検査を提供しています。

【膵臓 - 膵がんの早期発見を目指す】

TANE-P プロジェクトと称し、膵がんの早期発見に力を入れています。地域の医療機関と連携し、膵臓がんのリスクの高い方々(膵がん家族歴、膵嚢胞、膵管拡張、新規糖尿病・糖尿病増悪、限局性膵萎縮 etc.)を抽出し、その方々を当院へご紹介いただき、MRI、造影CT、EUSなどでサーベイランスを行うことで、手術ができるステージで膵がんを見つけようという取り組みを行っています。

【炎症性腸疾患(IBD) - 早期の寛解導入と徹底した寛解維持】

潰瘍性大腸炎やクローン病に対する専門的な診療を行っています。CT、MRI、大腸内視鏡検査、カプセル内視鏡検査、小腸バルーン内視鏡検査を用いて正確な診断を行います。治療は、通常の5-ASA製剤やステロイド・免疫調製剤に加え、CAP療法、Advanced Therapyと呼ばれるバイオ製剤や分子標的治療薬を、患者さんの病状に合わせつつ、Shared Decision Making(SDM)のポリシーで行っています。

【肝臓 - あらゆる集学的治療が可能】

急性肝障害に対する一般的診療から、重症急性肝不全に対するステロイドパルス療法や血漿交換療法を行っています。また、様々な原因で起こる慢性肝炎や肝硬変に対する一般的な診療に加え、C型肝炎に対する新しい抗ウイルス薬による治療、B型肝炎の抗ウイルス薬治療を行っています。

さらに、肝細胞がんに対する造影エコー検査や、治療としてRFA(ラジオ波凝固療法)やTACE(肝動脈化学塞栓療法)を行っています。肝硬変の患者さんの食道静脈瘤に対する治療(EVL、EIS、BRTOなど)や難治性腹水に対するデンバーシャント留置術(PVシャント)も行っています。

【緊急内視鏡 - 断らない救急】

24時間365日、緊急内視鏡ホットラインで救急隊と直接連携しており、消化管出血や消化管異物、S状結腸軸捻転、急性胆管炎などの緊急内視鏡を要するような疾患に数多く対応しています。急性期病院であり「断らない救急」をモットーにしている当院の性格上、吐血 / 腹痛を主訴とした消化管出血 / 急性腹症などの緊急疾患が救急車で多く運ばれてきます。そこで消化器内科 / 消化器外科が連携してチーム医療を行い、緊急処置 / 内視鏡治療 / 手術などを行っています。

【連携 - 患者ファーストの集学的治療】

消化器内科・外科合同カンファレンスや合同回診など、消化器外科との連携が良いことが大きな特徴の一つであり、診断から治療まで常に最善の医療を最善のタイミングで患者さんに提供できるよう多角的に診療を行っています。

消化器外科が診療していても内視鏡検査・治療などが必要であればすぐに消化器内科医が対応しますし、消化器内科が診療していても手術が必要であればすぐに外科医が対応します。また循環器内科・泌尿器科・脳神経内科・整形外科・緩和医療科などの他科との連携もスムーズであり、ひいては地域医療連携室を通して他病院や開業医の方々とも緊密な関係を維持しています。

治療実績・診療実績

※消化器内科の外来患者延数は一般外科の延数、入院患者延数は一般内科の延数に含まれています。

患者数
2024年度

外来患者延数 **15,521**人
(月平均 1,293.4人)

入院患者延数 **22,057**人
(月平均 1,838.1人)

連携医療機関の先生方へメッセージ

24時間365日、ご紹介をお断りすることはございません。いつ何時でも、どのような症例でもご紹介ください。病状が落ち着けば、再度逆紹介させていただきます。

- 外科/消化器外科
- 脳神経外科/神経・脳卒中センター
- 整形外科/スポーツ整形外科
- リハビリテーション科
- 泌尿器科
- 形成外科
- 耳鼻咽喉科
- 皮膚科
- 救急科(ER)
- 麻酔科
- 放射線診断科
- 婦人科
- 歯科
- 総合診療内科
- 感染症内科/呼吸器内科
- 糖尿病内分分泌代謝内科
- 循環器内科
- 消化器内科
- 脳神経内科/神経・脳卒中センター
- 腫瘍内科/がん薬物療法センター
- 小児科
- がん診療センター
- 乳腺科
- 高精度放射線治療センター
- 緩和医療科
- 日帰り手術センター
- 内視鏡センター
- 看護部/看護外来
- KHS(きつこう会)
- 社会福祉法人電望会

脳神経内科 *Neurology*

神経・脳卒中センター

脳神経外科と共同で 24 時間 365 日患者搬送を受け入れ

脳神経内科では、脳卒中やてんかんなどの神経救急疾患からパーキンソン病や ALS などの神経難病まで幅広く診療を行っています。特に、脳卒中症例は、脳神経外科と共同で神経・脳卒中センターを運営しており、24 時間 365 日患者搬送を受け入れています。

スタッフ体制

脳神経内科学術顧問

柳原 武彦

YANAGIHARA TAKEHIKO



専門分野 **資格 / 専門医 / 指導医等**
 脳神経内科 日本神経学会専門医・指導医、日本脳卒中学会専門医
 日本内科学会認定内科医・指導医

脳神経内科部長

白石 翔一

SHIRAISHI SHOICHI



専門分野 **資格 / 専門医 / 指導医等**
 脳神経内科 日本神経学会専門医・指導医、日本脳卒中学会専門医・指導医
 日本内科学会認定内科医、日本内科学会総合内科専門医・指導医

名前	役職	専門分野	資格・専門医・指導医等
吉田 智子 よしだ ともこ	部長	脳神経内科	日本神経学会専門医・指導医、日本脳卒中学会専門医 日本脳血管内治療学会専門医、日本内科学会認定内科医・総合内科専門医
田中 なつき たなか なつき	副部長	脳神経内科	日本神経学会専門医・指導医、日本脳卒中学会専門医 日本内科学会認定内科医・総合内科専門医
北村 絵未 きたむら えみ	医長	脳神経内科	日本神経学会専門医、日本脳卒中学会専門医 日本内科学会認定内科医
江並 朋美 えなみ ともみ	医長	脳神経内科	日本内科学会認定内科医、日本神経学会専門医 日本脳卒中学会専門医
小玉 大地 こたま だいち	医長	脳神経内科	日本神経学会専門医、日本脳血管内治療学会専門医 日本専門医機構認定内科専門医、脳血栓回収療法実施医
國方 桃代 くにかた ももよ	医員	脳神経内科	日本神経学会専門医 日本内科学会認定内科専門医
仲辻 有佑 なかつじ ゆうすけ	医員	脳神経内科	日本専門医機構認定内科専門医

診療内容・特色

虚血性脳卒中（脳梗塞や一過性脳虚血発作）については、年間約 400 例もの入院治療を行っており、超急性期症例に対しては rt-PA 静注療法はもちろん、血管内治療も常時行える体制を整えています。また、当院では回復期リハビリテーション病院も併設しているため、急性期から回復期までのリハビリテーションにも力を入れています。

治療実績・診療実績

脳血管内治療実績

疾患分類	2023年度	2024年度
rt-PA 静注療法単独	18	11
機械的血栓回収療法 (tPA 事前投与も含む)	27	33

外来患者数

年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
初診(実数)	290	326	514	452	308
再診(延べ数)	5,114	5,468	5,765	5,347	5,393

入院患者数

疾患分類	主な疾患名	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
脳血管障害	脳梗塞、一過性脳虚血発作	462	425	521	411	416
変性疾患	パーキンソン病、ALS	52	65	75	89	83
感染性・炎症性	髄膜炎、脳炎	30	30	31	23	25
免疫性	多発性硬化症、視神経脊髄炎	25	30	26	31	38
末梢性疾患・筋疾患	筋ジストロフィー	9	11	7	13	16
認知症疾患	アルツハイマー型認知症	15	20	8	13	16
発作性疾患	てんかん、片頭痛	160	165	226	162	161
その他の神経疾患		51	66	87	81	69
合計		804	812	981	823	824

患者数
2024 年度

外来患者延数
(月平均 449.4 人)

5,393 人

入院患者延数
(月平均 962.0 人)

11,544 人

連携医療機関の先生方へメッセージ

神経疾患でお困りでしたら、一度ご相談ください。

- 外科 / 消化器外科
- 脳神経外科 / 神経・脳卒中センター
- 整形外科 / スポーツ整形外科
- リハビリテーション科
- 泌尿器科
- 形成外科
- 耳鼻咽喉科
- 皮膚科
- 救急科 (ER)
- 麻酔科
- 放射線診断科
- 婦人科
- 歯科
- 総合診療内科
- 感染症内科 / 呼吸器内科
- 糖尿病・内分泌代謝内科
- 循環器内科
- 消化器内科
- 脳神経内科 / 神経・脳卒中センター
- 腫瘍内科 / がん薬物療法センター
- 小児科
- がん診療センター
- 乳腺科
- 高精度放射線治療センター
- 緩和医療科
- 日帰り手術センター
- 内視鏡センター
- 看護部 / 看護外来
- KHS (きつこう会)
- 社会福祉法人電望会

腫瘍内科 *Medical Oncology*

がん薬物療法センター

がん薬物療法が実施できる外来診療を実施

これまではがんの発生臓器に関連する臓器別診療(肺がんなら呼吸器、胃がんなら消化器など)のもとでがん薬物療法が実施されてきましたが、診断・治療の飛躍的な進歩により、専門的な知識や技能が必要とされる薬剤が導入され、質の高いがん薬物療法を実践するため臓器横断的に幅広い知識と技能を備えたがん薬物療法を専門とする医師が必要とされてきています。その専門診療科として腫瘍内科があります。

がん種によらず抗がん剤をはじめとしたがん薬物療法を実施しており、多職種連携によるきめ細やかな有害事象対策や指導などをシームレスに行うようがん薬物療法センターの中心的役割を果たしています。他院・他診療科からの紹介を受けるだけでなく、治療実施に際する相談や患者さん、ご家族の治療に対する悩みを聞くことも積極的に行っています。遺伝性腫瘍におけるカウンセリングは当科で行っております。

スタッフ体制

腫瘍内科副部長

兼 がん診療センター副センター長
(がん薬物療法センター長)

岡田 佳也

OKADA YOSHINARI



専門分野 資格 / 専門医 / 指導医等

がん薬物療法	日本内科学会認定内科医・総合内科専門医・指導医
緩和ケア	日本がん治療認定医機構がん治療認定医・指導責任者
レギュラトリーサイエンス	日本臨床腫瘍学会認定がん薬物療法専門医・指導医
(研究倫理、臨床倫理)	日本肉腫学会認定稀少がん肉腫専門医・認定指導医、日本遺伝性腫瘍学会認定遺伝性腫瘍専門医
	日本遺伝子細胞治療学会認定医、日本緩和医療学会認定緩和医療認定医・研修指導者
	日本消化管学会胃腸科認定医、日本乳癌学会乳腺認定医
	東北大学病院東北臨床研究審査委員会技術専門員、東北大学医学部客員准教授(非常勤講師)

名前	役職	専門分野	資格・専門医・指導医等
北代 紗也 きたしろ さや	医員	がん薬物療法	日本専門医機構認定内科専門医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医

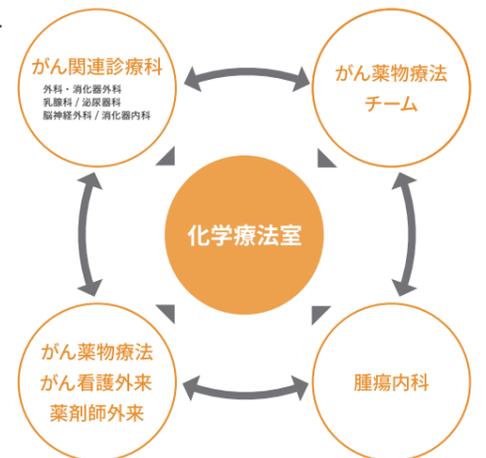
診療内容・特色

がん薬物療法はがんの三大治療の中で最も急速に進展している分野であり、標準治療が目まぐるしく置き換わっています。最新の治療効果を把握することはもちろん、多様化する薬剤による有害事象の対策も併せて行う必要があります。高い専門性が求められています。当院がん薬物療法センターでは、各臓器別専門診療科のがん薬物療法をがん薬物療法治療室に集約化し、確実で安全な治療の提供を心がけています。がん薬物療法チームでは通院治療・入院治療を問わず、がん薬物療法を実施するうえでの相談やアドバイスなどのサポートをしています。腫瘍内科ではがん種を問わず臓器横断的にがん薬物療法を実施し、有害事象対策にも力を入れています。がん薬物療法の選択だけでなく、がん患者さんの今後を広く考え、治療や療養の方向性について Shared Decision Making (SDM) や Advance Care Planning (ACP) を積極的に行っています。また近年、がんゲノム医療の発展に伴い、ますます重要視されるようになった遺伝性腫瘍におけるカウンセリングは当科で行っております。その他院内で行う治療レジメンを審査する化学療法委員会に参加し、コンセンサスを得た治療レジメン登録を行っています。



【がん薬物療法センターのチーム連携】

がん薬物療法センターの薬物療法治療室では、それぞれの分野のエキスパート(がん化学療法看護認定看護師、がん看護専門看護師、がん薬物療法認定薬剤師、外来がん治療認定薬剤師など)と連携し、患者さんのがん治療を支えます。それぞれの機能を最大限に活かし、求められる治療を実践しています。



【腫瘍内科】

臓器横断的にがん薬物療法を実践しています。有害事象対策も積極的に行っています。他科の治療アドバイスをしています。後述のがん看護外来、薬剤師外来のサポートを行っています。SDM、ACP を積極的に行い、患者さんに合った今後の治療や療養の方向性を相談しています。遺伝カウンセリングを行っています。

【化学療法室】

化学療法室では多診療科のがん薬物療法を行っています。安全で確実ながん薬物療法を実践するためにセンターに集約化して治療にあたっています。化学療法室では主に外来通院治療をされる患者さんが ADL (日常生活動作) を保ち、QOL を損なわずに治療を受けられるよう診療にあたっています。

以下の専門職が在籍しています。

- ・がん薬物療法認定薬剤師 ・外来がん治療認定薬剤師
- ・がん看護専門看護師 / 乳がん看護認定看護師 ・がん化学療法看護認定看護師

【がん看護外来】

がん薬物療法を受ける患者さんの治療の過程で生じる様々な問題に対し、セルフケアや心理的支援などを行い、患者さんの QOL を維持・向上させるための支援をしています。悩みや不安について解決の糸口を見つけられるよう一緒に考えサポートします。

【薬剤師外来】

薬剤師外来では、主に副作用のチェックから、治療開始時に使用する薬剤について、発現しやすい副作用やその予防方法の説明を行います。副作用のチェックは薬物療法を開始して 1 週間ほど経過したタイミングで行っております。副作用は様々な条件で発生しますので、その発現時の対処方法などについて分かりやすく説明させていただきます。その後、治療内容や説明内容を記録として留めておけるように、治療内容の説明冊子やお薬手帳用シールを患者さんにお渡しします。また患者さんには、日々の症状をご記入いただけます。受診時には「症状チェックシート」を医師、看護師、薬剤師が確認し、症状の改善についてチームで対応します。

連携医療機関の先生方へメッセージ

紹介先でお困りの際は、ぜひご相談ください。

小児科 *Pediatrics*

月・火・金曜日の週3日は16:00まで受付

小児科全般の疾患に対応しています。
乳幼児健診、各種予防接種も行っています。
気管支喘息の患者さんも多く、低身長の精査、在宅自己注射による低身長治療も実施しています。
当小児科では入院診療は行っており、外来のみとなります。
月・火・金曜日の週3日は16:00まで受付とし、幼稚園・学校などから帰宅後でも受診いただけます。

スタッフ体制

小児科副部長 **中村 寛子**
NAKAMURA HIROKO



専門分野 資格 / 専門医 / 指導医等
小児一般 日本小児科学会専門医・指導医

診療内容・特色

- 対象疾患
- 気管支喘息 / 喘息様気管支炎
 - 風疹 / 流行性耳下腺炎(おたふく風邪) / 麻疹(はしか)
 - 水痘(水ぼうそう)
 - 突発性発疹
 - 咽頭結膜熱(プール熱)
 - 伝染性紅斑(リンゴ病)
 - インフルエンザ
 - アトピー性皮膚炎
 - 食物アレルギー
 - 低身長
- 各種健診にも対応させていただきます。

予防接種のご案内

下記の通り予防接種を実施しております(要予約)。

2025年5月1日現在

予防接種(自費)		接種料金(税別)/一回あたり
DPT-IPV	四種混合ワクチン	10,000円
DPT-IPV-Hib	五種混合ワクチン	18,000円
DT	ジフテリア+破傷風	5,000円
麻疹		6,000円
風疹		6,000円
MR	風疹・麻疹混合	9,000円
おたふく風邪		5,000円
水痘		8,000円
ビームゲン(小児)	B型肝炎ワクチン(3回接種)	5,000円(※)
ヘプタボックス(小児)	B型肝炎ワクチン	5,000円
エームゲン	A型肝炎ワクチン	7,000円
プレベナー	小児用肺炎球菌ワクチン	10,000円
イモボックスポリオ皮下注	ポリオ予防(4回接種)	9,000円(※)
アクトピフ	ヒブワクチン	8,000円
日本脳炎		7,000円
ロタリックス内用液	ロタウイルス胃腸炎予防(2回接種)	13,000円(※)
ロタテック	ロタウイルス胃腸炎予防(3回接種)	8,500円(※)

※ 複数回接種が必要な予防接種の1回あたりの料金です。

治療実績・診療実績

2024年度 主な予防接種実績(延べ)

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
五種混合ワクチン	0	0	1	1	0	0	1	1	2	1	1	0	8
四種混合ワクチン	1	1	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	5
二種混合ワクチン	0	0	0	0	1	1	1	0	0	1	0	0	4
ピフワクチン	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
肺炎球菌ワクチン	0	1	1	3	1	0	1	1	2	2	1	0	13
乾燥弱毒生麻疹風疹混合ワクチン	1	0	1	0	2	2	1	0	0	0	0	0	7
ジェービック(日本脳炎ワクチン)	0	3	3	0	3	2	3	1	1	0	0	0	16
乾燥弱毒性おたふくかぜワクチン	0	0	1	1	2	2	0	0	0	0	0	0	6
乾燥弱毒生水痘ワクチン	1	1	1	0	0	1	1	1	0	1	0	0	7
ポリオワクチン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
B型肝炎ワクチン	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
ロタワクチン	0	0	1	1	0	0	1	1	2	1	0	0	7
成長ホルモン	2	2	2	3	2	2	1	1	1	2	0	2	20
合計	5	8	12	11	11	11	11	6	8	9	2	2	96

患者数：2024年度

外来患者延数 **630人**
(月平均 52.5人)

連携医療機関の先生方へメッセージ

総合病院の特性を活かし、診療科を迷った際も中学生以下のお子様であれば小児科で対応させていただきます。その都度必要に応じて各科への院内紹介もさせていただきます。
(現在、入院診療は行っておりませんが、今後中学生以上の軽症例などの入院対応も受け入れ検討中です。)

がん診療センター

Medical Cancer Center

01

一貫したがん治療と充実のサポート体制を整えました

2020年4月、別館「がん診療センター棟」に多根総合病院のがん診療の拠点といえる「がん診療センター」を開設いたしました。乳腺センター、緩和ケアセンター、がん薬物療法センター、そして高精度放射線治療センターのプロフェッショナルたちが集結し、一貫したがん治療をご提供します。加えてペインクリニック、薬剤部、がん専門の認定看護師、そしてがん相談支援センターのスタッフたちのサポート体制も万全。大阪府がん診療拠点病院としての役割を果たすべく、患者さんを全面的にサポートいたします。

U 特色

当院では各科においてがん診療は積極的に行われておりましたが、様々ながん以外の疾患に対する高度専門医療や救急医療にも幅広く対応しています。このような総合医療を担う中で、病院機能を強化し、がん診療体制の強化・充実を図る目的でがん診療センターを開設いたしました。がん治療には、手術療法、放射線治療そしてがん薬物療法がありますが、これらの治療を組み合わせることにより、がん治療成績は着実に進歩しております。そのため、しばしば診療科の枠を超えた連携が必要になります。また、がん治療においては早期からの緩和医療の導入の必要性が求められているほか、患者さんやご家族のライフスタイルに即した治療の継続が必要です。各がん診療に関わる診療科と連携し、診断・手術・放射線治療・化学療法・緩和ケアとそれぞれの専門医が協力して診療を行いながら、院内各部門のスタッフが恒常的に連携できる体制を整え、地域の住民の皆さまに最良の医療をご提供いたします。



相談窓口

1F

患者相談窓口・がん相談支援センター

(医療情報コーナー横)

月～金曜日

9:00～17:00

※土・日・祝日・年末年始を除く

連携医療機関の先生方へメッセージ

がん診療センターは、4つのセンターで構成され各部門が密接に連携し機能を補完し合いながら、質の高いがん医療の実践を目指してまいります。何なりとご相談ください。

乳腺科 *Mammary Gland*

02

乳がんと良性疾患をトータルに検診・治療する乳腺センター

今や乳がんは成人女性の9人に1人の割合で罹患すると言われており、女性の罹るがんの1位で、年々増加の傾向にあります。乳がん患者は、30代後半から急激に増加し40代後半から50代、60代の罹患率が高くなります。患者数の多い40代、50代は、職場などでの社会的な責任が増したり、子供の進学など家庭的にも重要な時期です。こうした時期に発症しやすい乳がんへの対応は、社会的にも重要な課題となっています。乳腺科では、2018年7月より「乳腺センター」として乳がんの早期発見と治療に取り組んでいます。

乳腺センター長

兼 がん診療センター長

上席副院長

兼 卒後臨床研修センター長



スタッフ
体制

西 敏夫

NISHI TOSHIO

<詳細 P7 外科 / 消化器外科をご参照ください>

森 琢児

MORI TAKUJI

<詳細 P7 外科 / 消化器外科をご参照ください>

U 診療内容・特色

乳腺センターでは、乳がんや乳腺良性腫瘍、乳腺炎など乳腺疾患全般について、診断や治療を行っています。当院では大阪市の乳がんの住民検診を受けることができます。また精密検査機関でもあります。乳がん検診で異常を指摘されたり、ふとした時に、乳房に硬いしこりをふれたことはありませんか。乳房に対し少しでも気になる方は、乳腺外来(月・火曜日の午前、木曜日の午後)を受診ください。乳癌学会の専門医・認定医が担当しています。

【治療方針】

日本乳癌学会で発行されているガイドラインに沿って治療を行っています。かなり複雑なところもありますが、分かりやすく説明させていただき治療方針を決定させていただきます。

主な検査

・マンモグラフィ ・超音波 ・MRI、CT、シンチ ・細胞診 ・画像ガイド下組織診(BD生検)

対象疾患

・乳がん
・乳腺良性腫瘍
・乳腺炎など

主な治療

・乳房温存療法、胸筋温存乳房切除、
センチネルリンパ節生検
・乳房再建(一期、二期)
・術前 / 術後化学内分泌療法
・放射線治療

治療実績 診療実績

2024年度

症例	例
乳がん手術	47
乳腺良性腫瘍手術	3
その他	5

連携医療機関の 先生方へメッセージ

患者さん一人ひとりの状況に合わせた医療を実現するには医療連携が欠かせません。乳がんが疑われた場合の鑑別診断や手術を中心とする初期治療、再発乳がんの治療を乳腺センターとして「患者中心の医療」の理念に基づいて提供させていただきます。

- 外科/消化器外科
- 脳神経外科/神経・脳卒中センター
- 整形外科/スポーツ整形外科
- リハビリテーション科
- 泌尿器科
- 形成外科
- 耳鼻咽喉科
- 皮膚科
- 救急科(E.R)
- 麻酔科
- 放射線診断科
- 婦人科
- 歯科
- 総合診療内科
- 感染症内科/呼吸器内科
- 糖尿病・内分泌代謝内科
- 循環器内科
- 消化器内科
- 脳神経内科/神経・脳卒中センター
- 腫瘍内科/がん薬物療法センター
- 小児科
- がん診療センター
- 乳腺科
- 高精度放射線治療センター
- 緩和医療科
- 日帰り手術センター
- 内視鏡センター
- 看護部/看護外来
- KHS(きつこう会)
- 社会福祉法人電望会

- 外科/消化器外科
- 脳神経外科/神経・脳卒中センター
- 整形外科/スポーツ整形外科
- リハビリテーション科
- 泌尿器科
- 形成外科
- 耳鼻咽喉科
- 皮膚科
- 救急科(E.R)
- 麻酔科
- 放射線診断科
- 婦人科
- 歯科
- 総合診療内科
- 感染症内科/呼吸器内科
- 糖尿病・内分泌代謝内科
- 循環器内科
- 消化器内科
- 脳神経内科/神経・脳卒中センター
- 腫瘍内科/がん薬物療法センター
- 小児科
- がん診療センター
- 乳腺科
- 高精度放射線治療センター
- 緩和医療科
- 日帰り手術センター
- 内視鏡センター
- 看護部/看護外来
- KHS(きつこう会)
- 社会福祉法人電望会

高精度放射線治療センター

High-Precision Radiation Treatment Center

03

次世代型イメージングソリューション HyperSight を搭載した TrueBeam を導入

当院では 2011 年より放射線治療を開始し、これまでに延べ 4,000 例以上の患者さんに対して、安定した治療を提供してまいりました。そして 2025 年夏には、次世代型イメージングソリューション「HyperSight」を搭載した、Varian 社のフラッグシップ放射線治療装置「TrueBeam」を導入いたしました。これまでに積み重ねてきた治療経験をもとに、今後さらに患者さんにより優しく、かつ高精度な放射線治療の提供を目指してまいります。

スタッフ体制

放射線治療専門医資格を持つ医師が 2 名在籍しています。放射線治療に携わる技師が 6 名在籍しており、うち 2 名は医学物理士の資格を取得しています。放射線治療品質管理士・放射線治療専門放射線技師・第一種放射線取扱主任者などの資格を持った技師が在籍しており、安心して患者さんが放射線治療を受けられる体制を整えています。また、がん放射線療法看護認定看護師の資格を持った看護師を専従で配置し、患者さん一人ひとりの疑問や不安、さらには放射線治療中の日常生活での困りごとにも、しっかりと丁寧に対応できる体制を整えています。

高精度放射線治療センター顧問

板垣 康

ITAGAKI YASUSHI



専門分野

放射線治療全般
前立腺がん(小線源治療、核医学治療を含む)

資格 / 専門医 / 指導医等

放射線治療専門医、放射線科専門医
核医学専門医、放射線科研修指導者

高精度放射線治療センター副部長

森本 英之

MORIMOTO HIDEYUKI



専門分野

放射線治療全般
前立腺 IMRT、肺がん定位照射・IMRT

資格 / 専門医 / 指導医等

放射線治療専門医、放射線科専門医

社会医療法人きつこう会 医療技術部 部長

兼 放射線部門技師長

川守田 龍

KAWAMORITA RYU



専門分野

物理技術精度保証
治療計画(脳定位照射、IMRT、通常照射)
放射線治療品質管理、放射線治療全般
高精度放射線治療(IMRT、SRT、IGRT)
緩和治療

資格 / 専門医 / 指導医等

医学博士、診療放射線技師、放射線治療専門放射線技師
医学物理士、放射線治療品質管理士
日本放射線治療品質管理士認定機構理事
日本放射線治療専門放射線技師認定機構理事
日本診療放射線技師会理事

名前	役職	専門分野	資格・専門医・指導医等
中原 隆太 なかはらりゅうた	放射線部門治療係長	放射線治療全般 放射線治療品質管理 システム構築	医学博士、放射線治療専門放射線技師、放射線治療品質管理士 第一種放射線取扱主任者、医学物理士、医療情報技師
古館 奈津希 ふるたてなつき	放射線部門治療 診療放射線技師	放射線治療全般 放射線治療品質管理	放射線治療専門放射線技師 放射線治療品質管理士
中坂 優太 なかさかゆうた	放射線部門治療 診療放射線技師	放射線治療全般	放射線治療専門放射線技師
吉川 雅樹 よしかわまさき	放射線部門治療 診療放射線技師	放射線治療全般	
郡田 遥士 こおりたようじ	放射線部門治療 診療放射線技師	放射線治療全般	第一種放射線取扱主任者
島田 千暁 しまだちあき	看護師	放射線治療看護全般	がん放射線療法看護認定看護師

診療内容・特色

当院放射線治療科は、大阪市西部地区におけるがん医療の充実と、地域医療へのさらなる貢献を目的として 2011 年 6 月に新設しました。開設当初より高精度放射線治療装置を導入し、IMRT(強度変調放射線治療)や定位放射線治療などの高精度治療に加え、通常照射や緩和照射にも幅広く対応しています。2024 年度末までに累計 4,000 例以上の放射線治療(うち高精度治療は 2,000 例以上)を実施しており、施設としても豊富な経験と確かな実績を重ねてまいりました。また、厳格な安全管理体制のもと、待機期間を最小限に抑えつつ、患者さん一人ひとりにとって最適なタイミングでの治療提供に努めています。他院からのご紹介も積極的に受け入れており、必要に応じて他科と連携のうえ、入院による治療にも対応しています。



▲ 放射線治療装置「TrueBeam」
Image courtesy of Varian Medical Systems, Inc. All rights reserved.



▲ 安全かつ高精度の放射線治療を推進することを目的として策定された認定施設規程に基づき、日本放射線腫瘍学会から認定されました。

治療実績・診療実績

累計期間(2011年6月～2025年3月)

	総治療部位件数	IMRT(VMAT)	定位放射線治療
泌尿器科系(前立腺含む)	1,067	875	130
脳腫瘍	674	197	379
頭頸部	123	44	20
肺	397	83	250
胸部(乳房含む)	455	19	10
食道	133	58	0
肝・胆・膵	242	111	94
胃・小腸	44	12	0
大腸・直腸	13	10	0
骨	459	16	19
脊椎骨(骨髄含む)	521	33	29
リンパ節	269	75	13
婦人科	11	5	0
その他	132	27	7
合計	4,540	1,565	951

患者数：2024年度 外来患者延数 **456**人 (月平均 38.0人)

連携医療機関の先生方へメッセージ

当院では他院からの患者さんも積極的に受け入れており、他科と連携しながら必要に応じて入院対応での放射線治療を受けていただける体制を整えています。通常照射はもちろん、定位放射線治療やIMRT(強度変調放射線治療)においても、できる限り早期に治療を開始できるよう努めています。
また、保険適用外となる場合でも、自由診療にて定位放射線治療やIMRTを実施することが可能ですので、どうぞお気軽にご相談ください。

緩和医療科 *Palliative Care*

緩和ケア病棟と緩和ケア外来で支える

当科は、悪性疾患に伴う身体的・精神的苦痛を和らげることで、患者さんとご家族のQOLの向上を目指しています。疾患の治療初期段階から多職種チームならびに地域と連携を図り、切れ目のない緩和ケアを提供します。

活動は以下の3つで行っています。

緩和ケア外来…………… 通院中の患者さんに対する疼痛・その他身体症状マネジメント、精神的支援、ACP(アドバンス・ケア・プランニング)支援などを実施

緩和ケアチーム(PCT)… 一般病棟入院患者さんに対して、多職種で構成されたチームが疼痛、呼吸困難、せん妄、不安、倦怠感などへの緩和的介入を行います

緩和ケア病棟…………… 終末期の療養に加え、症状緩和、在宅復帰支援、介護者支援(レスパイト)など、多様な目的に応じた入院を受け入れています

さらに、放射線治療科との連携による「放射線治療ホットライン」を設置しており、悪性疾患に伴う疼痛や出血などの局所症状に対する緩和的放射線治療を迅速に提供しています。

スタッフ体制

緩和医療科部長

石丸 英三郎

ISHIMARU EIZABURO



専門分野…………… 緩和ケア 消化器・一般外科
資格 / 専門医 / 指導医等…………… 日本緩和医療学会認定医、日本外科学会専門医
日本消化器病学会専門医・指導医、日本消化器内視鏡学会専門医・指導医
日本大腸肛門病学会専門医・指導医、日本消化器外科学会認定医
日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医

外科部長

柄池 真規子

GARAIKE MAKIKO



専門分野…………… 精神科全般 認知症 緩和ケア
資格 / 専門医 / 指導医等…………… 厚生労働省認定精神保健指定医
日本精神神経学会精神科専門医・指導医・認知症診療医
サイコオンコロジー学会認定登録精神腫瘍医、日本認知症学会専門医・指導医

名前	役職	専門分野	資格・専門医・指導医等
和田 健太郎 わだ けんたろう	医長	緩和ケア、緩和的放射線治療 放射線治療全般	放射線科専門医 放射線治療専門医

診療内容・特色

【緩和ケア病棟理念】

きつこう会理念「愛を原理とし、秩序を基礎とし、進歩を目的とし」に則り、緩和ケアを必要とする患者さんとご家族の想いに寄り添い、からだどこころの痛みを和らげ、その人らしい生活ができるように支援します。

- 外科/消化器外科
- 脳神経外科/神経・脳卒中センター
- 整形外科/スポーツ整形外科
- リハビリテーション科
- 泌尿科
- 形成外科
- 耳鼻咽喉科
- 皮膚科
- 救急科(ER)
- 麻酔科
- 放射線診断科
- 婦人科
- 歯科
- 総合診療内科
- 感染症内科/呼吸器内科
- 糖尿病・内分泌代謝内科
- 循環器内科
- 消化器内科
- 脳神経内科/神経・脳卒中センター
- 腫瘍内科/がん薬物療法センター
- 小児科
- がん診療センター
- 乳腺科
- 高精度放射線治療センター
- 緩和医療科
- 日帰り手術センター
- 内視鏡センター
- 看護部/看護外来
- KHS(きつこう会)
- 社会福祉法人亀屋会

【緩和ケア病棟のミッション】

緩和ケア病棟のミッション(行動基準)は、理念を基に求められる緩和ケアのあるべき姿をより具体的に共有するための宣言です。

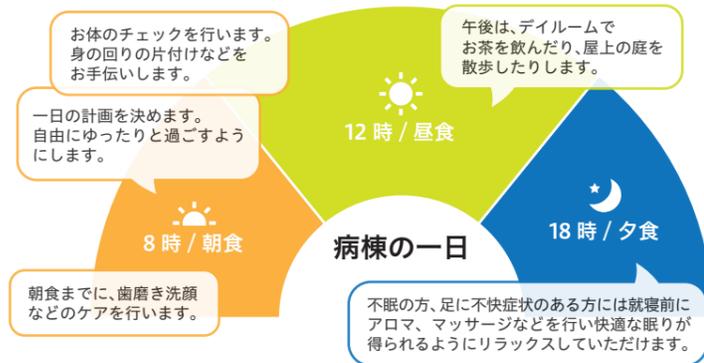
1. からだとこころの苦しさを取り除くことに努めます。
2. 相談しながら患者さんとご家族の望む生活を最大限に支援します。
3. ご家族との時間が必要な方には自宅と同じように語らえる環境を提供します。
4. 病棟でもご自宅でも安心して過ごせるように支援します。
5. ご家族のご心配ごともうかがいます。

【患者さんの希望を実現できる病棟であるために】

緩和ケア病棟では、患者さんが可能な限りいつもと同じ生活をおくることができるよう、苦痛を和らげるための治療を積極的に行っています。患者さん、ご家族の様々なニーズにお応えできるようにしています。どんな些細なことでもかまいません。患者さん、ご家族の思いや願いをお聞かせください。私たちスタッフ全員で皆さまの願いを応援いたします。

【緩和ケア病棟の一日】

病棟の一日は、基本的な食事の時間が決まっておりますが、ゆっくり過ごしていただくことを目指していますので細かい時間割などはありません。デイルームでのんびりお茶を楽しまれることも、ご家族が作った食事を一緒に食べていただくことも可能です。入院中でも、できるだけ普段の生活と変わらない生活をおくっていただけるように四季の行事会や、誕生日会を開催しています。また、一年を通じて季節のイベントを積極的に行っています。



【緩和ケア病棟の環境について】

緩和ケア病棟の環境は、病棟の安心感の中に普段の生活をおくれるようになってきています。一般病棟では難しい心配りを目指しています。トイレはいつでも自分の力でいきたい。そんな患者さんの気持ちにお応えできるようにお部屋のすぐそばに設置しています。また、ご家族の方が利用できる控え室をご用意しています。ご利用を希望されるご家族は、緩和ケア病棟の看護師にお申し出ください。

※施設に限りがございますので全てのご家族にご利用いただけない場合がございます。あらかじめご了承ください。さらに12階には、特別浴室と一般浴室を備えています。寝たままでも入浴できるストレッチャー式シャワーでの入浴のお手伝いをさせていただきます。

【普段の生活を緩和ケア病棟でおくれるように】

- 緩和ケア病棟での時間が少しでも普段の生活と同じように過ごしていただけるように基本理念を下記の通りお示しいたします。
- ・緩和ケア病棟は12階病棟の最上階にあり、大阪の街並みや夜景が一望できます。デイルームはご家族やご友人とゆったり過ごしていただけるようになっています。休憩やお食事など自由にご利用いただけるスペースとなっています。
 - ・市街地に居ながらも自然を感じられます。7階テラスはあたたかな光、やわらかな風、草花の優しい息吹が心を包み込み、癒やされる場所となっています。開園時間は午前9時から午後5時(夏期は午前6時から午後7時)ですので気候が良く体調のいい時にご利用ください。
 - ・手料理を楽しんでいただけるようキッチンを用意しています。簡単な調理器具、電子レンジ、オーブントースターなどがありますのでご利用ください。後片付けをきちんとお願いいたします。
 - ・インターネットが利用できます。病棟内にはインターネットが使える設備がございます。ご利用の際は、お使いのパソコンをお持ちいただき、看護師に申し出てください。
 - ・面会時間は相談可能です。基本は午後1時から午後8時まで、日曜・祝日は午前11時から午後8時までです(患者さんの状態により面会時間の相談は随時行っています)。
 - ・いつもの寝具でお休みください。入院中は使い慣れた寝具を持ち込んだりしていただいてもかまいません。自宅にいるように自由にゆったりお過ごしください。

【緩和ケア病棟の入棟基準】

緩和ケア病棟には入棟と退棟のルールがございます。より多くの患者さんにサポートが提供できるよう努めています。総合病院という環境を活かした体制で治療を再開することも、自宅での緩和ケアを継続されるなど、よりフレキシブルな要望に対応できるようになっています。

入棟基準

1. がんを患い、体や心に苦痛のある患者さんが対象です。
2. 患者さんとご家族が、緩和ケアを希望されていることが原則です。
3. 患者さんが病名、病状について理解していることが望まれます。
4. ご家族がいない、収入が乏しいなど、社会的、経済的、宗教的な理由で差別しません。
5. がんに対する治療を希望されたり、外科的処置が必要となる場合は一般病棟へ転床していただきます。
6. 重度の認知症、大声、暴力など、他の患者さんの入院生活に影響があると判断される場合は入院をお受けしていません。

退棟基準

1. 患者さん、またはご家族が退院を希望される時。
2. 悪性腫瘍の縮小あるいは治癒を目的として治療を希望される時。
3. 悪性腫瘍以外の病気を有し、その治療を優先する必要がある時。
4. 苦痛症状が緩和され、病状が安定した時。

【緩和ケア病棟をご利用いただくまで】

当院通院中・入院中の患者さんは、主治医にご相談ください。他院通院中・入院中の患者さんは、地域医療連携室を通して緩和医療科をご予約の上ご相談ください。

【看護外来の緩和ケア】

当院では、緩和ケアを幅広く受けていただくために、専門の認定看護師がサポートする看護外来を開設しています。地域住民の健康管理と患者さんの自己管理分野の指導助言、相談相手となり在宅療養の継続が図れるように患者さん及びご家族を支援しています。特に緩和ケアの分野ではニーズが高きめ細かいサポートが求められるものと考えています。

※詳細はP60をご参照ください。

治療実績・診療実績

2024年度 緩和ケア病棟 診療実績

	延べ患者数(人)	実入院患者(人)	新入院数(人)	退院数(人)	平均在院日数(日)	稼働率(%)
4月	549	44	19	28	25.2	96.2
5月	464	44	15	31	22.8	79.8
6月	435	37	17	25	21.5	76.7
7月	472	45	22	35	18.9	81.8
8月	508	39	24	27	18.9	86.3
9月	449	44	19	32	18.0	80.2
10月	444	43	25	30	17.8	76.5
11月	517	37	22	20	19.1	89.5
12月	503	46	22	39	18.5	87.4
1月	481	43	26	33	18.5	82.9
2月	438	40	23	27	16.7	83.0
3月	440	45	22	38	16.1	77.1

連携医療機関の先生方へメッセージ

該当される患者さんがいらっしゃいましたら、地域医療連携室(TEL: 06-6585-2780)までご相談ください。

日帰り手術センター

Day Surgery Center

日本医療機能評価機構認定病院、短期滞在手術の施設基準に準拠、安心安全の24時間サポート体制

日帰り手術センターは、多根総合病院が全国に先駆けて1998年に開設した、日帰り手術を専門に行う施設です。当センターは、特に日帰りでは難しいと言われる胆石症や鼠径ヘルニア(脱腸)、下肢静脈瘤など数多くの実績と経験を持っています。

スタッフ体制

きつこう会統括院長

兼 日帰り手術センター名誉センター長

丹羽 英記

NIWA HIDEKI

<詳細 P7 外科 / 消化器外科をご参照ください>

日帰り手術センター長

土屋 康紀

TSUCHIYA YASUNORI

<詳細 P7 外科 / 消化器外科をご参照ください>

院長

小川 稔

OGAWA MINORU

<詳細 P7 外科 / 消化器外科をご参照ください>

麻酔科部長

兼 日帰り手術センター副センター長

棚橋 識生

TANAHASHI NORIO

<詳細 P28 麻酔科をご参照ください>

当院の日帰り手術を支える看護スタッフは、専門の知識と経験を積み、DSコーディネーターとしての資格を取得。患者さんへの説明から、安心して手術を受けていただけるサポートを行っています。

日帰り手術についてのご質問・ご相談はお気軽にご連絡ください。

06-6585-3054

dsc@tane.or.jp

※Eメールでのご質問には担当スタッフが折り返し返信いたします。初診外来診察のご予約は通常通り地域医療連携室にご連絡ください。

診療内容・特色

【日帰り(短期滞在)手術可能な主な疾患】

日帰り手術センターでは、外科から泌尿器科・整形外科・形成外科・耳鼻咽喉科などの幅広い領域において「日帰り手術」を行っています。中でも、外科の良性疾患である「鼠径ヘルニア」の症例数は全国的に見てもトップクラスを誇り、日本内視鏡外科学会技術認定医のもとキズの小さい腹腔鏡手術も行っています。また、胆石症など日帰りでは難しいとされていた疾患でも対応可能な場合があります。ご相談ください。

外科疾患

鼠径部ヘルニア(小児含む)/痔(イボ痔など)/気胸(鏡視下手術・VATS)/乳腺腫瘍/肝腫瘍/皮膚腫瘍/大腸ポリープ
胆石症(鏡視下手術・ラパコレ)/下肢静脈瘤/早期乳がん/甲状腺腫瘍/慢性虫垂炎/胃・大腸早期がん(内視鏡切除術)

整形疾患

上肢帯(上腕・前腕・手指)の骨折/肘部管症候群
手根管症候群/抜釘(骨内異物除去)/ばね指
腱断裂(手足の指)

形成疾患

瘢痕(傷あとの形成術など)/鼻骨骨折・頬骨弓骨折
皮膚・皮下腫瘍/臍突出症(でべそ)/腋臭症
眼瞼下垂症(先天性・老人性)/副耳・耳瘻孔
舌小帯短縮症など小児疾患/母斑(レーザー治療)

耳鼻疾患

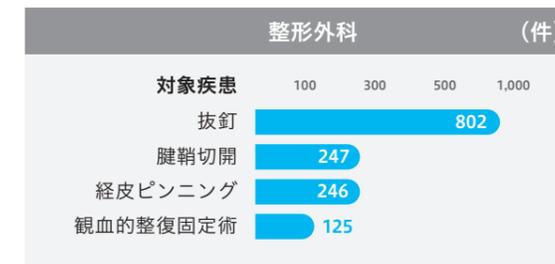
アレルギー性鼻炎/滲出性中耳炎/肥厚性鼻炎

内科疾患

睡眠時無呼吸症候群

治療実績・診療実績

開設から2024年9月までの疾患別件数：総手術件数 42,161 件(合計 35,759 件、その他 6,402 件含む)



連携医療機関の先生方へメッセージ

日頃は日帰り手術センターに患者さんをご紹介いただき誠に有難うございます。当センターでは、専門医による質の高い医療を短期間で提供することを理念としています。日常生活リズムをできるだけ崩すことなく手術治療を受けていただけるよう今後とも努力してまいりますので、何卒よろしくお願いたします。

内視鏡センター *Endoscopy Center*

06

患者さんに寄り添った苦痛のない検査から最先端の高度な内視鏡治療まで

年間11,000件以上の消化器内視鏡件数を有しており、内視鏡治療として、後述する胃食道逆流症に対するARMS/ARMP/ESD-G、食道・胃・大腸の早期がんに対するESD、食道胃静脈瘤に対するEVL・EIS、胆膵疾患に対するERCP・EUS、EUS-TA(Tissue Acquisition)、Interventional EUS、消化管・胆管メタリックステント留置術、小腸カプセル内視鏡検査・小腸バルーン内視鏡検査などを幅広く多く行っています。消化管出血や急性胆管炎などに対する緊急内視鏡も常時可能です。

日々の胃カメラ・大腸カメラの検査も「苦痛のない内視鏡検査」を心がけ、経鼻内視鏡・鎮静剤と鎮痛剤の併用・内視鏡挿入形状観測装置(UPD)など最新の技術と、医師の持つ高い内視鏡操作技術を駆使し、えずかない胃カメラ・痛くない大腸内視鏡検査を提供しています。

スタッフ体制

<詳細 P40 消化器内科をご参照ください>

副院長

兼 消化器内科部長
兼 内視鏡センター長

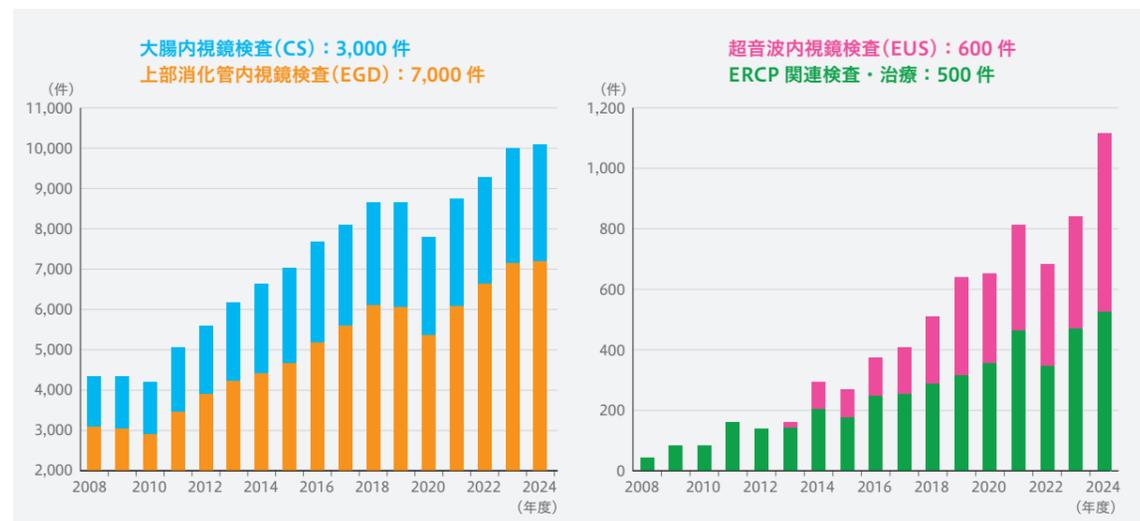
浅井 哲

ASAI SATOSHI

名前	役職	名前	役職
赤峰 瑛介 あかみね えいすけ	消化器内科副部長	加納 由貴 かのう ゆき	消化器内科医長
中尾 栄祐 なかお えいすけ	消化器内科副部長	松尾 健司 まつお けんじ	消化器内科医長
竹下 宏太郎 たけした こうたろう	消化器内科副部長	大館 秀太 おおたち しゅうた	消化器内科医長

医員	久松 健人 ひさまつ けんと	橋村 友哉 はしむら ともや	島 佳弘 しま よしひろ	橋本 沙優里 はしもと さゆり	川崎 健生 かわさき けんせい	杉原 拓実 すぎはら たくみ
----	-------------------	-------------------	-----------------	--------------------	--------------------	-------------------

治療実績・診療実績



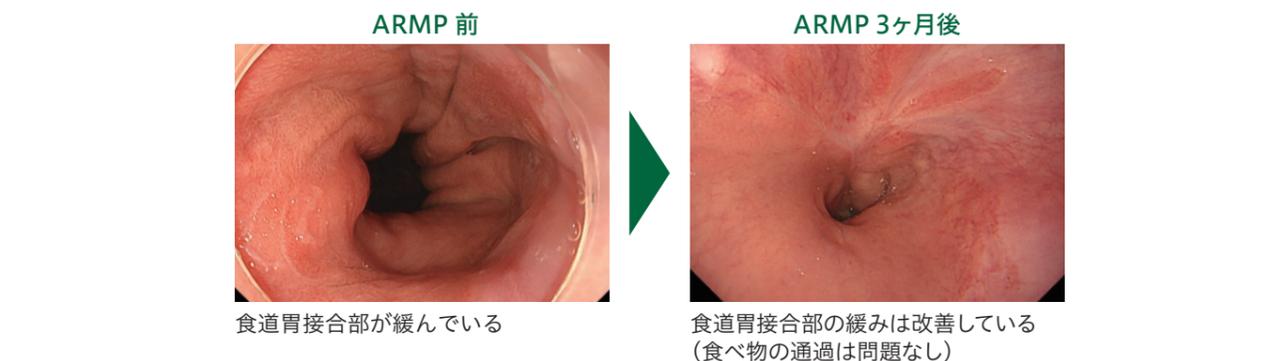
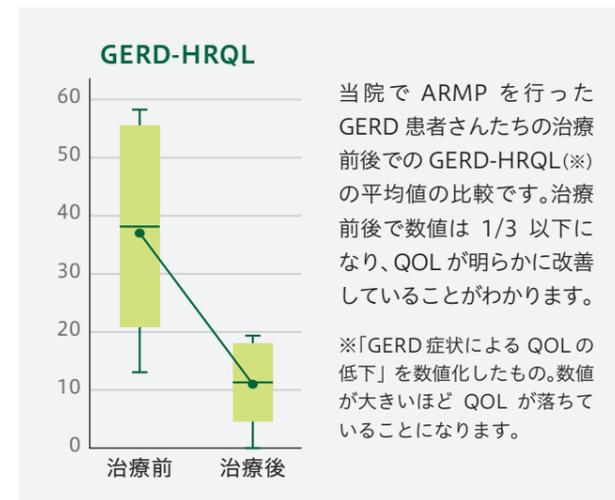
診療内容・特色

【最新トピック】 難治性の胃食道逆流症 (GERD) に対する 逆流防止粘膜切除術 (ARMS) を実施しています

2022年より難治性GERDに対するARMSが保険承認されました。まだ全国的にもこの治療ができる病院は少ない中、当院ではARMSを行っています。難治性GERDの方の多くは食道胃接合部や下部食道括約部が弛緩している方が多いため、同部を何らかの方法で狭く締めてあげることで胃液の逆流量が減少し、症状が改善します。以前は手術しか方法がありませんでしたが、現在は内視鏡で治療することができます。

食道胃接合部の粘膜をあえて内視鏡的に切除することで潰瘍を作り、その潰瘍が癒癒する過程で粘膜が収縮する作用を利用します。最近では、作った潰瘍をナイロン糸とクリップで内視鏡的に縫縮することで確実な効果が得られるようになりました(図とグラフ参照)。当院ではARMSを2泊3日で提供しています。

※治療前評価として胃カメラと24時間インピーダンスpHモニタリング検査(1泊2日)が必要です。



さらに洗練された内視鏡チーム

現在、消化器内科には消化管のESDや、胆膵のERCP/Interventional EUSなどの高難易度の内視鏡治療を行える医師が多数在籍しています。それぞれが、がんセンター中央病院・がんセンター東病院・がん研有明病院・NTT東日本関東病院などの消化器内科・内視鏡の登竜門とされる施設で研鑽を積み、その腕を振るうべく再び当院へ戻り日々内視鏡診療に従事しています。

連携医療機関の先生方へメッセージ

当センターは、あらゆる内視鏡検査・治療をハイレベルに提供できる環境が整っていますので、内視鏡診療の必要な症例がございましたらいつでもご紹介ください。

看護部 看護外来

Nursing Department

その人らしさを支える看護を提供します

当院は大阪府がん拠点病院です。
がん関連の認定看護師と専門看護師が在籍しており、患者さんに寄り添った専門的な看護を提供しています。またがんに関する相談やストーマケアや褥瘡に関するスキンケア相談を中心とした看護外来も開設しています。在宅復帰支援としては、入院前から患者さんの情報を聴取し介護支援専門員との早期連携を図り、退院前訪問や退院後訪問を積極的に行い、患者さんが安心して住み慣れた地域へ帰れるようチーム一丸となり支援しています。
また、二次救急指定病院、災害拠点病院の指定病院として、24時間365日救急医療を提供できるよう「救急看護」、「急性期看護」のレベル向上にも努めています。受診された患者さんご家族が安心して療養生活を送れますよう尽力しています。

【きつこう会看護部の理念】

きつこう会の理念に基づき、「その人らしさを支える看護を提供します」。超高齢社会となり、病院は機能分化しています。すでにきつこう会は、機能分化した施設を有していますが、患者さん・利用者さんがどのような状態であっても「その人らしさ」を尊重し支えていける看護を提供したいと考えています。

【きつこう会看護部の基本方針】

1. 安全な看護サービスの提供 常に自己研鑽を積み、より質の高い安全な看護サービスの提供に努めます。
2. 患者中心の看護サービスの提供 患者の生命の尊厳と権利を尊重し、患者の欲求と看護師としての専門的な判断に基づき公平に看護サービスを提供します。
3. 五感を活かした看護サービスの提供 看護職者としての五感を研ぎ澄まし、創造性の高い看護を提供します。
4. チーム医療のキーパーソンとしての看護 医師・メディカルスタッフとの良好なコミュニケーションを図り、看護の専門性を発揮したチーム医療を展開します。
5. 地域住民の健康支援者 きつこう会ヘルスケアシステム (KHS) の機能を活かした効率的な看護サービスを提供します。

スタッフ体制

看護部長

米倉 修司

YONEKURA SHUJI

略歴

- 1990年 看護師免許取得
救命救急センター等の勤務を経験
- 1992年 救急救命士取得
- 2014年 集中ケア認定看護師取得
- 2021年 大阪市立大学(現：大阪公立大学)大学院 都市経営学修士課程修了
多根総合病院勤務
- 2024年より現職

看護部長あいさつ

2024年4月より看護部長に就任いたしました米倉修司と申します。
当院は災害拠点病院でもあり、「地域の中で最良の急性期病院になる」という目標を掲げ、職員一丸となって頑張っています。
チーム医療の一員である看護部として、きつこう会の理念に基づき「その人らしさを支える看護」に真剣に取り組み、日々研鑽し看護の質の向上を図っていきたくと考えています。地域の皆さまに安心できる医療・看護を提供していくことが私たちの使命です。

概況と体制

看護提供体制

入院基本料 1(7 対 1 以上)

看護方式

固定チームナーシング

看護職員数

約350名

勤務体制

変則 2 交替制

教育と研修

看護職員の資質の向上とキャリア開発に繋がるための教育プログラム「キャリアラダー」、専門領域別に系統立ったプログラムで学ぶ「院内認定看護師コース(8コース)」、管理能力開発と計画的な管理者育成ツール「看護管理者マネジメントコース」を実施しています。
看護の専門職として、知識・技術・態度を修得し、地域包括ケアに対応できる看護師の育成を目指しています。
また当院は特定行為に係る看護師の指定研修機関です。看護師として一定の経験があり専門的な研修を受けた特定看護師が、医師の指示を受けて特定行為を実践しています。

認定看護師・専門看護師	担当者	メッセージ
皮膚・排泄ケア特定認定看護師	好岡 文葉	ストーマケアや褥瘡ケア、排泄ケアでお困り事があればご相談ください。
感染管理特定認定看護師	宮崎 悠	運動・食事・睡眠の質を高め、予防医療を推進しています。また、手術や術後管理、肺炎の治療など、急性期に関わることでお困り事があればご相談ください。
認知症看護認定看護師	坂野 裕子	在宅環境や施設・地域の特性に応じた最善の感染対策ができるよう一緒に検討させていただきます。感染に関することなど、お気軽にご相談ください。
脳卒中リハビリテーション看護認定看護師	應本 勝美	脳卒中予防、脳卒中後のケア、アドバンスプランニング(ACP)、自宅のできる口腔ケアなどお気軽にご相談ください。
がん性疼痛看護認定看護師	米谷 晶子	がん患者さんの心と体の痛みの緩和を行い、その人らしい生活ができるようお手伝いをさせていただいています。
がん看護専門看護師 乳がん看護認定看護師	植村 未奈子	がん(乳がん)に関わることでお悩みがあれば、ご相談ください。
がん化学療法看護認定看護師	久寶 麻衣子	患者さんが安全に抗がん剤治療を受け、つらい副作用を少しでも緩和できる方法や自分の病気と向き合う方法を一緒に考え、その人らしく過ごせること、笑顔を忘れないお手伝いができるように努めています。
がん放射線療法看護特定認定看護師	島田 千暁	がんの放射線治療に関するさまざまな疑問や不安に対応します。
急性・重症患者看護専門看護師	有地 正人	運動・食事・睡眠の質を高め、予防医療を推進しています。また、手術や術後管理、肺炎の治療など、急性期に関わることでお困り事があればご相談ください。
がん看護専門看護師	岡根 絵美里	がんと診断された時から最後まで、がんと共に生きる患者さんご家族を支えます。
診療看護師/クリティカルケア認定看護師	矢野 晋	2024年より診療看護師として活動しています。地域医療の力となり、切れ目のない医療と看護に貢献いたします。

多根総合病院に所属しているスペシャリストナース

認定看護師 (CN:Certified Nurse) / 12 名

特定の看護分野において、熟練した看護技術及び知識を用いて、水準の高い看護実践のできる看護師です。

がん性疼痛看護 CN	1 名	クリティカルケア CN	1 名	認知症看護 CN	2 名	感染管理 CN	1 名
がん化学療法看護 CN	1 名	集中ケア CN	1 名	皮膚・排泄ケア CN	1 名	乳がん看護 CN	1 名
がん放射線療法看護 CN	1 名	摂食・嚥下障害看護 CN	1 名	脳卒中リハビリテーション CN	1 名		

専門看護師 (CNS:Certified Nurse Specialist) / 3 名

水準の高い看護ケアを効率よく提供するための、特定の専門看護分野の知識・技術を深めた看護師です。

急性・重症患者看護 CNS	1 名	がん看護 CNS	2 名
---------------	-----	----------	-----

認定看護管理者 (CNA:Certified Nurse Administrator) / 1 名

質の高い組織的看護サービスを提供することを目指し、看護管理者の資質と看護の水準の維持及び向上に寄与する看護管理者です。

診療看護師 (NP: Nurse Practitioner) / 1 名

診療看護師とは、大学院の診療看護師養成課程(修士)を修了し認定試験に合格した一定の診療を行うことができる看護師です。

看護外来 *Nursing Department*

患者さんとそのご家族に対して、専門領域の看護師が必要な知識・技術をお伝えし、相談相手となり支援してまいります。下記のような場合に「看護外来」をご利用ください。

- ・ ストーマケアに心配事がある
- ・ がんと診断され、とにかく不安
- ・ 治療内容について悩んでいる
- ・ がん薬物療法の副作用について困っている
- ・ 放射線治療について知りたい
- ・ 治療中や治療後の生活について相談したい
- ・ 緩和ケアについて相談したい など

看護外来(受診)のご案内

診療日

	月	火	水	木	金
午前(10:00~12:00)		スキンケア			
午後(13:00~16:00)	がん看護	スキンケア	がん看護	がん看護	がん看護

- 場所** 6F 日帰り手術センター診察室②
- 対象の方** 当院に通院している患者さんとそのご家族
- 費用** 状況に応じて、医療保険の適応となります。「在宅療養指導管理料」「ストーマ処置料」「がん患者指導管理料」「リンパ浮腫指導管理料」が発生する場合があります(費用の目安:200~600円)
- 受診方法** 医師、看護師にお問い合わせください。※原則予約制ですが、当日も可能な限り対応いたします。
- スタッフ体制**

皮膚・排泄ケア認定看護師	乳がん看護認定看護師	がん放射線療法看護認定看護師
がん看護専門看護師	がん化学療法看護認定看護師	がん看護担当看護師

連携医療機関の先生方へメッセージ

多くの認定看護師と専門看護師が在籍しており、患者さんに寄り添った専門的な看護を提供いたします。安心して多根総合病院にご紹介ください。

KHS(きつこう会)

大阪市西部地域の皆さまが安心して暮らせる医療を提供します

きつこう会は、1949年に多根病院からスタートして75年を超えます。健康管理から急性期・回復期・慢性期・在宅まで、一貫した健康管理サービスを提供してまいりました。2014年には病院や診療所と介護サービスとの連携を目的とした医療介護連携システム「KHS®(きつこう会ヘルスケアシステム)」を構築しました。地域にお住まいの皆さまが、医療と介護に安心できる暮らしを目指してまいります。

- | | |
|-----------------------------|-------------------------|
| 【医療部門】 | 【予防部門】 |
| 急性期医療 …… 多根総合病院 | 人間ドック生活習慣病健診 …… 多根クリニック |
| 眼科専門 …… 多根記念眼科病院 | |
| 慢性期医療 …… 多根第二病院 | |
| | 多根介護老人保健施設てんぼーざん |
| 回復期リハビリ …… 多根脳神経リハビリテーション病院 | |
| 訪問看護 …… きつこう会多根訪問看護ステーション | |

理事長 あいさつ

私ども社会医療法人きつこう会は「地域に根ざし、信頼される医療・福祉の提供」を掲げ、急性期病院をはじめ、回復期、在宅支援、介護サービス等を通じて、地域包括ケアの実現を目指し取り組んでまいりました。医療・介護の両面から地域の皆さまを支えるには、私たちだけの力では到底及ばず、地域の先生方との密接な連携が不可欠であり、日頃のご協力に深く感謝申し上げます。

近年、医療を取り巻く環境は急速に変化しております。少子高齢化の進行により、医療ニーズはますます多様化・複雑化し、それに伴って患者さんの生活背景やご家族の状況を踏まえた、より個別化された医療提供が求められています。こうした背景の中で、私たち病院と地域の診療所、施設、訪問看護、ケアマネジャー等との連携による“チームとしての医療”が、今後ますます重要な役割を担っていくことは言うまでもありません。

当法人では、患者さんが「病院での治療」から「在宅での療養」へとスムーズに移行できるよう、地域の医療機関との連携体制の強化に努めています。急性期を担う病院としての機能を果たしつつも、在宅療養中に症状が悪化した際にはすぐに受け入れができるような体制整備にも力を入れており、いわゆる「顔の見える連携」を実現するため、紹介・逆紹介にとどまらず、日常的な情報共有や相談体制の充実を図っています。患者さんやご家族にとって最も信頼される存在であるかかりつけ医の先生方と連携しながら、安心して暮らし続けられる地域社会を一緒に築いていけるよう、今後も努力を重ねてまいります。

また、定期的な登録医総会などを通じて、先生方と意見を交わす機会を大切にしております。現場での実感やお悩み、地域での課題などを伺うことで、当法人の医療体制や支援内容の見直しにつなげ、より実効性のある連携へと高めていきたいと考えています。

何かと多忙な診療の中ではございますが、引き続き、当法人の活動にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

社会医療法人きつこう会
理事長 **多根 一之**



- 外科/消化器外科
- 脳神経外科/神経・脳卒中センター
- 整形外科/スポーツ整形外科
- リハビリテーション科
- 泌尿器科
- 形成外科
- 耳鼻咽喉科
- 皮膚科
- 救急科(ER)
- 麻酔科
- 放射線診断科
- 婦人科
- 歯科
- 総合診療内科
- 感染症内科/呼吸器内科
- 糖尿病・内分泌代謝内科
- 循環器内科
- 消化器内科
- 脳神経内科/神経・脳卒中センター
- 腫瘍内科/がん薬物療法センター
- 小児科
- がん診療センター
- 乳腺科
- 高精度放射線治療センター
- 緩和医療科
- 日帰り手術センター
- 内視鏡センター
- 看護部/看護外来
- KHS(きつこう会)
- 社会福祉法人亀屋会

多根記念眼科病院

眼科の先進医療に携わる専門病院 / 日本眼科学会専門医制度研修施設

多根記念眼科病院は、白内障をはじめとする老人性眼疾患に対応できる専門病院として先進医療に携って来ました。高度で先進的な治療から、最新の視力矯正治療も含め、地域の皆さまに信頼していただける理想の眼科専門病院を目指します。

病院概要

開設 1988(昭和63)年10月
院長 川村 肇
病床数 58床

〒550-0024 大阪市西区境川 1-1-39
TEL:06-6581-5800



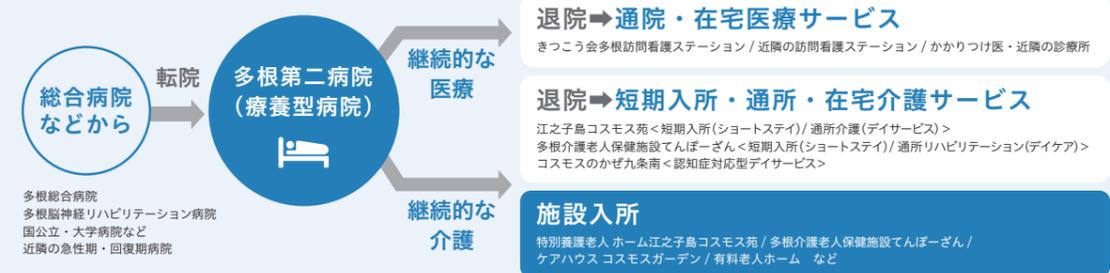
多根第二病院

信頼される安心な医療を 温かい看護と介護で笑顔あふれる病院

多根第二病院は、きつこう会の慢性期医療の領域を担う病院です。急性期医療から回復期医療を経て当院に入院、通院される方に最善の医療を提供します。高齢者の人々に生きる勇気と自信を与え、社会復帰を目指す医療、看護、介護、リハビリテーションを行っています。同一建物の7・8階に多根介護老人保健施設てんぼーざんを併設しています。

長期療養の場合

療養型病院では、慢性期医療を提供。慢性期医療は、治療することが困難な状態が長期にわたり、その間に適切な管理、観察、治療、看護を提供することが可能です。



病院概要

開設 1986(昭和61)年8月<新築移転2000(平成12)年3月>
院長 安部 嘉男
診療科 内科、脳神経内科、リハビリテーション科、リウマチ科、放射線科
病床数 216床

〒552-0021 大阪市港区築港 3-4-25
TEL:06-6599-1212



多根総合病院・多根記念眼科病院を中心とする医療機関グループ

- ・人間ドック / 健康診断
- ・救急 / 専門病院
- ・リハビリテーション / 療養病院
- ・介護の相談窓口
- ・介護老人保健施設
- ・在宅医療サービス



江之子島コスモス苑・コスモスガーデンを中心とする介護・福祉グループ

- ・介護の相談窓口
- ・老人ホーム
- ・在宅介護サービス



- 【理念】**.....愛を原理とし 秩序を基礎とし 進歩を目的とす
- 【方針】**.....質の高い全人的な医療・介護・予防をシームレスに展開し、皆さまに愛され信頼される存在となります
- 【行動規範】**.....私たちは感性を磨き、自らを高めていきます
私たちは一人一人の人格を尊重し幸せな暮らしを支えます
私たちは明るい健全な運営を行い社会へ貢献します

- 【行動指針】**.....自己研鑽 ~ Self Improvement ~
常に自己を振り返り、自己研鑽に努めます
顧客中心志向 ~ Customer Engagement ~
あらゆる顧客と愛着ある深い絆を築きます
プロ意識 ~ Pride of a Professional ~
自分たちの仕事に責任と誇りをもって取り組みます
共働・協調 ~ Teamwork ~
チームの一員であることを意識した行動の実践に努めます
意識改革 ~ Motivation & Challenge ~
変わることを恐れず、新しいことへの挑戦を行います

多根脳神経リハビリテーション病院

ご自宅で支障なく生活できるように リハビリテーションをご提供

多根脳神経リハビリテーション病院は、50床を有する回復期病院であり、主に多根総合病院で急性期の治療を受けた後の患者さんのリハビリテーションを担っています。対象となる疾患は、脳血管疾患、大腿骨骨折、変形性関節症の手術後などです。医師・看護スタッフ・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・管理栄養士・薬剤師・ケースワーカーなど、専門家集団がチームとなり、最善のリハビリテーションプログラムを実践しています。早く元の生活に戻れるように、日常生活に密着したリハビリと生活指導を行い、家庭復帰をお手伝いしています。また、当院を退院した患者さんのアフターケアとして、必要に応じて外来や訪問でのリハビリテーションを実施できる体制をとっています。さらに、多根総合病院との連携により、患者さんの病状に合わせた対応が可能になっています。

病院概要 完全予約制

開設 2001(平成13)年6月
院長 青池 太志
診療科 神経内科、リハビリテーション科、心療内科・精神科、放射線科
病床数 50床

〒552-0011 大阪市港区南市岡 1-1-45
TEL:06-6585-2743 (平日 9:30~16:30)



きつこう会 多根訪問看護ステーション

看護師がご自宅に訪問して療養生活を支えます

大阪市西区・港区・大正区にお住まいの方を対象にした訪問看護を行っています。多根訪問看護ステーションの看護師が患者さんのご自宅を訪問して、入院していただいているのと同じように療養生活のお手伝いをいたします。多くの患者さんに接した経験を持つ訪問看護師は、療養生活に即したアドバイスをすることができます。また、緊急時には医師との強力な連携の下、早期対応・対策に万全の体制を整えています。

特徴

- 【訪問看護サービス提供体制】** 勤続年数が3年以上の看護師が70%であり、訪問看護に精通した経験豊富なベテラン看護師が多く在籍しています。研修や勉強会も定期的を実施しており、小児から特定疾患、認知症のケア、悪性疾患の緩和ケアまで幅広く対応しています。平均看護師歴:19.7年 / 平均訪問看護師歴:8.2年
- 【訪問看護認定看護師、特定行為研修修了者在籍】** 長期間の研修を受け、訪問看護や特定の専門分野(褥瘡処置、点滴管理など)についての専門的な知識・技術を習得した看護師が、在宅療養を支えます。
- 【緊急時訪問看護体制】** 24時間365日、看護師に連絡できる体制があり、状況により臨時に訪問看護をうけることができ、安心して在宅療養ができます。
- 【西区・港区・大正区を対象とした大規模訪問看護ステーション】** 本ステーション利用者:約140名
訪問件数:看護師1名が1日4~6件を訪問
- 【多根総合病院をはじめとする、大阪市西区・港区・大正区内の病院やクリニックとの連携体制】**

サービス内容

症状の観察、健康状態の管理 病气や障害の状態、血圧・体温・脈拍などの測定、内服薬の管理
医療処置 床ずれや創傷の予防・処置、カテーテルの管理、医療機器(在宅酸素、人工呼吸器)の管理
身体の清潔 清拭、洗髪、入浴の介助
在宅リハビリ 拘縮予防や機能の回復、日常生活動作の訓練、嚥下訓練
療養生活の相談・支援 / その他 介護方法や療養環境整備のアドバイス、病气や介護、不安の相談

施設概要

看護師 常勤10名 / 非常勤5名
対象者 大阪市西区・港区・大正区にお住まいの方(その他地域の方についてはご相談ください)
病气や心身の障害のために、療養生活の支援を必要とする方
乳幼児から高齢者の方まで、主治医より訪問看護が必要であると認められた方

〒550-0025
大阪市西区九条南 1-12-21
(多根総合病院 4階)
TEL:06-6581-1651
(平日 9:00~16:00)

多根クリニック

年間最大 35,000 人以上の検査能力を誇る

多根クリニックは、人間ドックを主に行っています。大阪市西部地区では大規模人間ドック施設として、法人個人を問わず必要な検査を選択していただけます。年間19,000人を超える方々の健康管理という実績から、1996(平成8)年には日本総合健診医学会の優良施設に、2006(平成18)年には人間ドック健診施設機能評価機構によって優良施設に認定されました。

特徴

JR大阪環状線、OsakaMetro中央線の「弁天町駅」直結の人間ドック専門施設です。人間ドックには半日コース、一泊二日コース、専門ドックでは脳ドック、心臓ドック、肺がんドックをはじめ、ご利用いただきやすいようにアフタヌーンドック(午後ドック)、すこやかドック、地域ドックおよび、協会健康保険の健診や、メタボリック症候群の改善を目的とした特定保健指導も実施しています。さらに脳梗塞・心臓病・がんの早期発見を目的とした専門コースもご用意しています。諸検査によって、受診された方々の健康をチェックし、ほとんどの方に対して当日、医師による面談(健康に対するアドバイス)を行っています。もし異常が認められた際には、多根総合病院やその他KHS施設とも連携し安心のバックアップ体制で皆さまの健康を守っています。

【基本方針】

- 人(お客様・職員)に安心して安全な優しい多根クリニックを築く
- 地域社会に貢献し、支持され、信頼される多根クリニックを目指す(「われわれは、地域社会に貢献する」立場から、地域社会から支持され、信頼され、責任を果たすことはもちろん、医療法、個人情報保護法など関係する法律を遵守する)

施設概要

開設 1993(平成5)年5月
院長 門脇 隆敏

〒552-0007
大阪市港区弁天1丁目2番2-600号
大阪ベイトワール ベイトワールイースト 6階
TEL:06-6577-1881
(月~金曜日 9:00~17:00 / 土曜日 9:00~12:00)
※祝日の営業もごございますので、お問い合わせください



多根介護老人保健施設てんぽーざん

慢性期医療を担う多根第二病院内に併設

多根介護老人保健施設てんぽーざんは、急性期医療・回復期医療を受けた方が自宅に戻れる段階で必要となる生活に準じたりハビリを行うことを目的とした施設です。当グループの多根総合病院や多根脳神経リハビリテーション病院などから入所される方が多いですが、他の医療機関からの転院・転所も可能です。



施設概要

開設 2000(平成12)年4月
施設長 刀山 五郎
定員 100名(認知症対応8階、各階個室6室)
対象者 リハビリテーション・看護・介護を必要とする要介護1~5の方
入所期間 3~6ヶ月程度

〒552-0021 大阪市港区築港 3-4-25
(多根第二病院 7・8階に併設)
TEL:06-6599-1616 (平日 9:00~17:00)

社会福祉法人亀望会

02

質の高い全人的な医療・介護・予防をシームレスに展開し、皆さまに愛され信頼される存在に

亀望会は、特別養護老人ホーム江之子島コスモス苑を中心に福祉・介護のサービスを提供する社会福祉法人です。居宅サービス計画(ケアプラン)の作成から多岐にわたる事業者との連携を管理しています。

ケアハウス コスモスガーデン

シニアライフを楽しむ「便利・安心・リーズナブル」な暮らしをご提供

老人福祉法に基づく新しい型の軽費老人ホームで、大阪市の指導監督のもとに設置運営しています。

施設は、OsakaMetroの「阿波座駅」からも徒歩圏内で、郵便局や銀行、鞆公園が近くにあり、スーパーマーケットも向かいにある、生活しやすい都市型のケアハウスです。

- 住所 〒550-0004 大阪市西区靱本町 3-6-18 TEL 06-6459-3221
- 開設 2000(平成12)年4月
- 定員 40名
- 職員体制 施設長1名 / 生活相談員1名 介護職員2名(夜間は警備員が常駐)

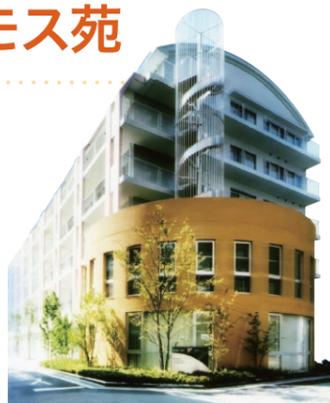


特別養護老人ホーム 江之子島コスモス苑

ご本人もご家族も安心できる生活環境をご提供

特別養護老人ホーム 江之子島コスモス苑は、在宅での生活が困難になられた方が、終身にわたり介護が受けられる施設です。

- 住所 〒550-0006 大阪市西区江之子島 1-8-44 TEL 06-6225-2662
- 開設 1998(平成10)年7月



コスモスのかぜ九条南

認知症の方、ご家族、地域の方のためのデイサービス

コスモスのかぜ九条南は、OsakaMetroの「九条駅」から徒歩圏内で、大阪市立九条南小学校や福音幼稚園、日本基督教団大阪九条教会がすぐ近くにある便利な場所に位置しています。九条南公園が目の前にあり、晴れた日には散歩に行ったりするなど、生活リズムの改善につなげています。

- 住所 〒550-0025 大阪市西区九条南 2-21-2 エステート幸福 103 TEL 06-6586-5572

居宅介護支援事業所

看護師がご自宅に訪問して療養生活を支えます

KHS(きつこう会ヘルスケアシステム)居宅介護支援事業所は、社会医療法人きつこう会と社会福祉法人亀望会の2法人を運営主体とした事業所です。グループの連携で3箇所の拠点(江之子島コスモス苑居宅介護支援事業所、多根総合病院居宅介護支援事業所、てんぼーざん居宅介護支援事業所)で18名のケアマネジャーがケアプランの作成を中心に、介護と福祉サービスの相談支援を行っています。

多根総合病院居宅介護支援事業所

- 住所 〒550-0025 大阪市西区九条南 1-12-21 多根総合病院 4階 TEL 06-6536-8803
- 経営主体 社会医療法人 きつこう会
- 開設 2000(平成12)年4月

江之子島コスモス苑居宅介護支援事業所

- 住所 〒550-0006 大阪市西区江之子島 1-8-44 (江之子島コスモス苑内) TEL 06-6225-2662
- 経営主体 社会福祉法人 亀望会
- 開設 2000(平成12)年4月

てんぼーざん居宅介護支援事業所

- 住所 〒552-0021 大阪市港区築港 3-4-25 TEL 06-6599-1616
- 経営主体 社会福祉法人 亀望会
- 開設 2016(平成28)年6月

地域包括支援センター 中央区北部地域包括支援センター 花乃井地域在宅サービスステーション

介護と福祉でお困りのときは、地域包括支援センターにご相談ください

中央区北部地域包括支援センターは、大阪市からの委託を受け、介護保険やひとり暮らしの不安、介護予防や権利擁護などの様々な相談・支援を行う機関です。地域の高齢者の方々が、住み慣れた地域で安心して生活をしていただくための行政サービスのひとつで、専門的な知識を持った社会福祉士、主任介護支援専門員、保健師等がご相談に応じます。

中央区北部地域包括支援センター

- 住所 〒540-0011 大阪市中央区農人橋 3-1-3 ドミール堺筋本町 1階 TEL 06-6944-2116

花乃井地域在宅サービスステーション

- 住所 〒550-0006 大阪市西区江之子島 1-8-44 (江之子島コスモス苑内) TEL 06-6225-2662

フロアマップ

多根総合病院は12のフロアで構成されています。大きく分けると、1階から3階までが外来、処置・治療室となり、4階が医局、5階が検査、治療、リハビリ、6階が専門に特化した部門、7階から12階が病棟となります。



	最上階	ヘリポート(ホバリングスペース)
	12F	緩和ケア病棟・病棟・デイルーム
	11F	病棟・デイルーム
	10F	病棟・デイルーム
	9F	HCU・病棟・デイルーム
	8F	HCU・病棟・デイルーム
	7F	ICU・病棟・デイルーム・屋上庭園
	6F	内視鏡センター・日帰り手術センター・手術室
	5F	中央検査部・薬剤部・RI検査室・リハビリテーション 栄養科(厨房)・臨床工学科(ME室)・物品管理室
	4F	総合医局・看護部門・医療安全管理室・治験管理室 図書室(職員用)・事務部門・講堂
	3F	外来(泌尿器科)・生理機能検査・放射線科 売店(一般・職員)
がん診療センター 化学療法室	2F	外来(総合診療科・内科・外科・整形外科 形成外科・脳神経外科・脳神経内科・耳鼻咽喉科 皮膚科・小児科・婦人科・緩和ケア・歯科) 点滴室
高精度放射線治療センター	1F	総合案内・受付・会計・患者相談窓口 健康情報コーナー・医事室医薬品情報管理室 お薬相談室・調剤室 救急受付・救急処置室(ER)
別館 がん診療センター棟		本館

診療のご案内

社会医療法人 きつこう会 多根総合病院 2025年度版

2025(令和7)年9月発行

発行 / 社会医療法人 きつこう会 多根総合病院

〒550-0025 大阪市西区九条南 1-12-21

TEL:06-6581-1071 / FAX:06-6581-2520

<https://general.tane.or.jp>

